令和３(2021)年度

入学者選抜要項

一般選抜（前期日程）

一般選抜（後期日程）

総　合　型　選　抜

社　会　人　入　試

私費外国人留学生入試

弘　前　大　学

HIROSAKI　UNIVERSITY

令和２(2020)年７月

一般選抜及び総合型選抜はインターネット出願となります。

〈　目　次　〉

□新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学者選抜方法等の特例措置について
■令和３（2021）年度入学者選抜方法等の主な変更点について　……　1
■弘前大学における三つの方針（ポリシー）　……　7
■弘前大学の入学者選抜について　……　9
■募集人員　……　13
■入学試験日程　……　14

Ⅰ．一般選抜
１．一般選抜の実施方法等　……　15
２．出願資格　……　15
３．出願手続　……　16
４．試験実施教科・科目等に関する留意事項　……　18
５．各学部の試験実施教科・科目及び配点等　……　20
６．個別学力検査の評価方法等　……　25
７．試験会場　……　29
８．追試験　……　29

Ⅱ．総合型選抜
１．総合型選抜の実施方法等　……　30
２．総合型選抜Ⅰ　……　32
2-1 人文社会科学部　……　33
2-2 教育学部　……　35
2-3 理工学部　……　38
2-4 農学生命科学部　……　40
３．総合型選抜Ⅱ　……　42
3-1 教育学部　……　42
3-2 医学部医学科　……　46
3-3 医学部保健学科　……　48
3-4 農学生命科学部　……　50

Ⅲ．社会人入試　……　52

Ⅳ．私費外国人留学生入試　……　55

Ⅴ．共通事項
１．入学検定料　……　62
２．入学検定料の免除について　……　62
３．障害等のある入学志願者の事前相談について　……　62
４．入学試験における感染症対応について　……　62
５．合格発表について　……　63
６．入学手続について　……　63
７．欠員補充について　……　64
８．入学試験個人成績の開示について　……　64
９．個人情報の取扱いについて　……　64
10．募集要項等の公表について　……　65

Ⅵ．各学部の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）　……　66

■弘前大学キャンパス略図　……　84

新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学者選抜方法等の特例措置について

令和２年７月　弘前大学

新型コロナウイルス感染症対策に伴う令和３年度入学者選抜の日程変更及び試験実施上の配慮措置を下記のとおりお知らせします。

今回の変更は新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う特例措置であるため，各学部等が「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」で示している入学者選抜の基本方針とは一部内容が異なることをご承知置き願います。

また，今後，新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては，募集要項の公表後や出願期間後であっても，やむを得ず，試験期日や選抜方法の変更等の緊急措置を実施する場合があります。緊急措置を実施する場合は，随時，本学ホームページ等でお知らせしますので，ご留意願います。

なお，各選抜の試験場においては，感染拡大の防止策を講じた上で試験を行うこととしておりますが，受験者の皆様にも感染防止対策にご協力いただくことをご承知置き願います。

記

調査書

１．「調査書」の取扱い

高等学校の臨時休業等による影響を考慮し，一般選抜及び総合型選抜において「調査書」を評価することを予定していた学部では，評価対象から「調査書」を除きます。これにより，一部の学部において配点合計が変更となります。志願者の意欲や行動力は，主として面接試験や志望理由書等により評価し，「調査書」は面接試験の参考として使用することがあります。

なお，高等学校の臨時休業により第３学年の評定を記載できない場合は，その理由（例：「新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業のため記載不可。」）を記載してください。

総合型選抜

２．総合型選抜における出願要件の変更

(1) 人文社会科学部

「調査書」における全体の学習成績の状況（評定平均値）の要件（4.0以上）を除外します。また，専門高校枠志願者の資格試験の要件を除外しますとともに，修得科目単位の要件は令和３年３月までの修得見込みを認めます。

(2) 医学部医学科

「調査書」における全体の学習成績の状況（評定平均値）の要件（4.3以上）について，出願時において第３学年の評定を記載できない場合は，第２学年までの評定による全体の学習成績の状況を対象とします。

(3) 医学部保健学科

「調査書」における全体の学習成績の状況（評定平均値）の要件（3.5以上）を除外します。

３．総合型選抜の試験日程変更

総合型選抜の試験日程を，次の日程に後ろ倒しして実施します。

区分	出願期間	試験実施日	合格発表日
総合型選抜Ⅰ	10月１日～７日	11月７日～８日	11月26日
総合型選抜Ⅱ			２月10日

＊入学手続は，２月17日までとします。

４．総合型選抜の選抜方法変更

教育学部の総合型選抜Ⅰにおいて，下記専修の実技の選抜方法を予告から変更します。

学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース

音楽専修：一部の課題は動画の事前提出とし，試験当日の実施方法も変更

保健体育専修：柔道及びバスケットボールは，他者との接触を伴わない形で実施

医学部医学科の総合型選抜Ⅱにおいて，ワークショップを実施しないこととします。これにより，配点合計が変更となります。

５．総合型選抜Ⅰ合格者の大学入学共通テスト受験の取扱い変更

総合型選抜Ⅰの合格者については，勉学意欲継続という趣旨に鑑み，予告では大学入学共通テストの受験を必須としていましたが，これを任意とします。

一般選抜

６．一般選抜の試験日程変更

一般選抜の出願期間を，１月25日～２月５日に変更します。

また，一般選抜後期日程の入学手続は，３月26日までとします。

７．一般選抜 個別学力検査の出題範囲

一般選抜 個別学力検査の出題範囲に変更はありません。ただし，数学Ⅲ及び理科の出題に関し，教科書において「発展的な学習内容」として記載されている内容から出題する場合は，設問中に補足事項を記載するなどの配慮をします。

８．一般選抜の試験期日の配慮

新型コロナウイルス感染症に罹患し治癒していない者，新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として自宅待機している者，試験当日に発熱・咳等の症状があり受験を取り止めた受験者のために，医師の診断書等の提出を条件として，一般選抜前期日程・後期日程において，下記の日程で追試験を実施します。

追試験日：３月22日（試験会場は弘前地区のみ。本試験と同じ選抜方法で実施。）

大学入学共通テスト特例追試験

９．大学入学共通テスト特例追試験受験者の試験日程変更

大学入学共通テスト特例追試験受験者の試験日程を，下記のとおり別途設定します。

総合型選抜Ⅱ：合格発表日２月22日，入学手続２月27日まで

一般選抜前期日程・後期日程：出願期間２月15日～18日

その他の入試

10．社会人入試の試験日程変更

総合型選抜に合わせて試験日程を変更し，出願期間を10月１日～７日，試験実施日を11月８日，合格発表日を11月26日に後ろ倒しして実施します。

11．私費外国人留学生入試における日本留学試験の取扱い，試験日程及び選抜方法変更

2020年６月の日本留学試験が中止されたことに伴い，出願要件の対象とする試験に2019年（６月又は11月）の日本留学試験を加えます。

一般選抜の変更に合わせて，出願期間を１月25日～２月５日に変更します。

また，教育学部音楽専修の実技の選抜方法について，一部の課題を動画の事前提出にするとともに，試験当日の実施方法を変更します。

以上

令和３（2021）年度入学者選抜方法等の主な変更点について

令和２年７月　弘 前 大 学

令和３（2021）年度入学者選抜要項の公表にあたり，前年度からの主な変更点を取りまとめました。

また，今般の新型コロナウイルス感染症の流行に伴う措置内容については，「新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学者選抜方法等の特例措置について（令和２年７月弘前大学）」の内容を盛り込み，網掛で標記しています。

１．試験の名称

(1) 大学入試センター試験　→　大学入学共通テスト
(2) 一般入試　→　一般選抜
(3) ＡＯ入試　→　総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）
　　総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

２．募集人員

総合型選抜の募集人員を337人から428人に拡充します。これにより，総合型選抜の募集割合は全体の32.4％となります。

入試区分		令和３年度		令和２年度		令和２年度比	
一般選抜	前期日程	716	894	801	985	△85	△91
	後期日程	178		184		△ 6	
総合型選抜	Ⅰ	242	428	205	337	＋37	＋91
	Ⅱ	186		132		＋54	
合　計		1,322		1,322			

（変更内訳）

学部学科等	一般選抜	総合型選抜
人文社会科学部　文化創生課程	（前期）　70→60	Ⅰ 25→35
社会経営課程	（前期）100→90＊ ＊国語選択 60→55，数学選択 40→35	Ⅰ 35→45
教育学部　学校教育教員養成課程		
特別支援教育専攻		Ⅰ 5→Ⅱ 5
養護教諭養成課程		Ⅰ 6→Ⅱ 6
医学部　医学科	（前期）70→65＊ ＊青森県定着枠 20→15	Ⅱ 42→47＊ ＊北海道・東北枠 15→20
医学部　保健学科　看護学専攻	（前期）60→50	Ⅱ 20→30
放射線技術科学専攻	（前期）30→24	Ⅱ 10→16
検査技術科学専攻	（前期）30→24	Ⅱ 10→16
理学療法学専攻	（前期）15→12	Ⅱ 5→8
作業療法学専攻	（前期）15→12	Ⅱ 5→8
理工学部　数物科学科	（前期）40→38＊，（後期）18→16＊＊ ＊数選択 20→19，数／理選択 20→19 ＊＊数選択 7→6，理選択 11→10	Ⅰ 20→24
物質創成化学科	（前期）29→26	Ⅰ 13→16
地球環境防災学科	（後期）18→15	Ⅰ 17→20
電子情報工学科	（前期）31→29，（後期）10→9	Ⅰ 14→17
機械科学科	（前期）40→36	Ⅰ 20→24
自然エネルギー学科	（前期）15→9，（後期）5→12	Ⅰ 10→9
農学生命科学部　生物学科	（前期）26→23，（後期）7→5	Ⅱ 7→12
分子生命科学科	（前期）22→20，（後期）11→8	Ⅱ 7→12
食料資源学科	（前期）33→26	Ⅰ 10→17
国際園芸農学科	（後期）12→10	Ⅰ 13→15
地域環境工学科	（前期）18→15	Ⅰ 6→9

３．大学入学共通テストについて

一般選抜及び総合型選抜Ⅱにおいて，大学入学共通テストの外国語科目については，下記の取扱いとします。

⑴ 外国語科目については，全学部で英語のみとします。

⑵ 英語の得点は，リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計得点（200点満点）を素点として利用します。

⑶ リスニングを免除された場合は,リーディングの成績を200点満点に換算して素点として利用します。

４．出願書類の評価について

4-1．調査書

一般選抜及び総合型選抜において，高等学校等が作成する「調査書」を活用して志願者の意欲や行動力等を評価することを予告しておりましたが，今般の新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う高等学校等の臨時休業等により，出席日数，特別活動の記録や指導上参考となる諸事項の記載に影響が生じる可能性があること，文化・スポーツ大会や資格・検定試験等に参加できず諸活動の実績や資格・検定試験等の成績の結果を記載できない場合があることなどから，今年度は全ての選抜において「調査書」を評価対象から除きます。一般選抜及び総合型選抜において面接試験を実施する学部等では,「調査書」を面接試験の参考として使用することがあります。

高等学校の臨時休業により第３学年の評定を記載できない場合は，その理由（例：「新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業のため記載不可。」）を記載してください。

なお，今回の変更は新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う特例措置であるため，各学部等が「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」で示している入学者選抜の基本方針とは一部内容が異なることをご承知置き願います。

また,「調査書」の作成にあたり,「備考欄（大学の希望により当該大学の学部等に対する能力・適正等について，特に高等学校長が推薦できる生徒についてはその旨記入することとされている欄）」については，本学では記載を求めません。

4-2．志望理由書等（志願者本人が記載する書類）

一般選抜においては，教育学部を除く全ての学部で「志望理由書」の提出を求めます。面接を課さない学部では,「志望理由書」の内容に基づき，主として行動力や意欲を評価します。

総合型選抜においては，人文社会科学部を除き，志願者本人が記載する書類の名称を「志望理由書」に統一します。

なお,「志望理由書」等の評価において，志願者のさまざまな活動を評価する場合であっても，志願者のチャレンジ精神，努力のプロセス，積極性などに主眼を置くものであり，新型コロナウイルス感染症対策に伴う各種行事の中止等の影響により不利益となることはありません。

4-3．出願書類の評価方法

出願書類の評価方法の概要は下記のとおりです。

⑴ 一般選抜

- 人文社会科学部，医学部保健学科，医学部心理支援科学科，理工学部，農学生命科学部：
  「志望理由書」を４段階評価し点数化する。出願書類の配点は予告から変更しない。
- 教育学部：
  「調査書」は面接試験の参考とする。
- 医学部医学科：
  「調査書」及び「志望理由書」は面接試験の参考とする。

(2) 総合型選抜

- 人文社会科学部：
  「学習計画書」は点数評価する。配点合計は，予告時の600点から500点に変更する。
- 教育学部（音楽・美術・保健体育専修）：
  「調査書」は面接試験の参考とする。配点合計は，予告時の625点から600点に変更する。
  保健体育専修では，「スポーツ競技歴に関する資料」を面接試験の参考とする。
- 教育学部（音楽・美術・保健体育専修除く），理工学部，農学生命科学部：
  「志望理由書」を４段階評価し点数化する。学部によって「調査書」及び「志望理由書」を面接試験の参考とすることがある。出願書類の配点は予告から変更しない。
- 医学部医学科：
  「調査書」及び「志望理由書」は面接試験の参考とする。
- 医学部保健学科：
  「志望理由書」を４段階評価し点数化する。「調査書」及び「志望理由書」は面接試験の参考とする。
  出願書類の配点は，予告時の200点から100点に変更し，配点合計は1,500点から1,400点に変更する。

５．一般選抜

5-1. 個別学力検査の出題方針等

一般選抜で実施する個別学力検査の出題教科・科目の範囲は，高等学校学習指導要領による教育課程に従って学ぶ教科・科目に対応させていますが，令和３年度入試からは，より論理的な思考を問うための記述式の設問を拡充します。教科・科目試験，総合問題及び小論文の出題方針及び形式については，選抜要項等において新たに公表します。

なお，数学Ⅲ及び理科の出題に関し，教科書において「発展的な学習内容」として記載されている内容から出題する場合は，設問中に補足事項を記載するなどの配慮をします。

5-2. 個別学力検査の変更点

(1) 教育学部（前期日程）
　全課程：個人面接を追加（試験日程は２日間，試験会場は弘前地区試験場のみとする）
　小学校コース：理科の選択科目から地学を削除
　中学校コース（理科専修）：理科の選択科目から地学を削除
　中学校コース（技術専修）：理科→数学へ変更
　養護教諭養成課程：理科の選択科目から物理及び地学を削除

(2) 医学部医学科（前期日程）
　数学及び英語→総合問題（文章や資料の読解，分析を含め総合的思考力を試す）へ変更

(3) 医学部保健学科（前期日程）
　看護学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻：
　　数学及び英語→数学又は英語から１科目選択へ変更し，小論文を追加
　放射線技術科学専攻：理科２科目及び英語→数学及び物理へ変更
　検査技術科学専攻：理科２科目及び英語→理科１科目選択及び英語へ変更

(4) 理工学部（前期日程）（後期日程）
　数物科学科（数学選択）を除く学科：理科→物理，化学から１科目選択に統一

(5) 農学生命科学部
　（前期日程）地域環境工学科を除く学科：理科→化学，生物から１科目選択に統一
　（後期日程）全学科　　：理科→小論文へ変更

5-3. 第２志望選抜の廃止

一部の学部で実施してきた第２志望選抜は，令和３年度入試から廃止します。

5-4. 試験日程の変更

一般選抜の出願期間を予告から変更し，１月25日～２月５日とします。また，後期日程の入学手続は３月26日までとします。

６．総合型選抜

6-1. インターネット出願導入

本学では，令和２年度一般入試からインターネット出願を導入していますが，令和３年度入試では総合型選抜においてもインターネット出願を導入します。

なお，募集要項は紙媒体での発行はせず，インターネット上からダウンロードしていただくことになります。

6-2. 試験日程の変更

「令和３年度大学入学者選抜実施要項（令和２年６月19日付　２文科高第281号）」の内容を踏まえ，総合型選抜の試験日程を次のとおりとします。

総合型選抜Ⅰ，Ⅱともに，出願期間は10月１日～７日，試験実施日は11月７日～８日とし，全学同日程で実施します。合格発表日は，総合型選抜Ⅰが11月26日，総合型選抜Ⅱは２月10日とします。

6-3. 専門高校枠の導入

人文社会科学部，理工学部，農学生命科学部の一部の学科・課程では，これまで専門高校等の出身者について“◯名の合格者を予定している”として募集していましたが，令和３年度からは専門高校や専門学科等の出身者について専門高校枠として募集人員を明記します。

6-4. 大学入学共通テストの受験について（総合型選抜Ⅰの合格者）

大学入学までの勉学意欲継続という趣旨に鑑み，令和３年度以降の総合型選抜Ⅰの合格者に対しては，大学入学共通テストの受験を必須とする予定でしたが，これを任意とします。

なお，これまでどおり，大学入学共通テストの成績が合否に影響することはありません。

大学入学共通テストの受験教科・科目については下記のとおりです（全学部共通）。

【大学入学共通テストの出題教科・科目】

国語	国語　を１		
地歴	世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ	１又は２	５又は６
公民	現社，倫，政経，倫政経		
数学①	数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学Ａ	１又は２	
数学②	数学Ⅱ，数学Ⅱ・Ｂ，簿記・会計，情報関係基礎		
理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎，物理，化学，生物，地学	１から３	
外国語	英語（リスニングを含む）を１	【５教科７科目から６教科８科目】	

6-5. 各学部等の変更点

(1)　人文社会科学部

「高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上である者」を出願要件として予告していましたが，卒業時期に関わらず，出願要件から除外します。

また，社会経営課程の専門高校枠の出願要件において，総合学科に関しては「商業又は情報の単位を20単位以上修得した者」としていましたが，「商業又は情報の単位を20単位以上修得した者及び令和３年３月までに修得見込みの者」とします。同じく，専門高校枠の出願要件としていた，簿記検定試験等の合格条件を出願要件から除外します。

(2)　教育学部

学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コースのＡＯ入試Ⅱでは，センター試験の成績は最

終合格者を決定する際の目安として取り扱ってきましたが，令和３年度入試からは大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点で合否判定を行います。

また，総合型選抜Ⅰにおける学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コースの次の専修の実技の選抜方法を予告から変更します。音楽専修では，一部の課題は動画の事前提出とし，試験当日の実技実施方法も変更します。保健体育専修では，柔道及びバスケットボールは，他者との接触を伴わない形で実施します。

(3) 医学部医学科

AO入試Ⅱでは，これまで２段階選抜を行ってきましたが，これを取りやめます。令和３年度入試は，①個人面接，②ケーススタディの自学自習により実施し，２日間の日程で試験を行います。予告から変更して，ワークショップは実施しないこととし，配点合計を，予告時の1,700点から1,300点に変更します。

また，これまでセンター試験は「資格試験」と位置づけしてきましたが，令和３年度入試からは，大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点で合否判定を行います。

出願要件として予告していた，「高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.3以上の者」に関し，令和３年３月に卒業見込みの者で高等学校の臨時休業等の影響により第３学年の評定を記載できない場合は，「第２学年までの評定による全体の学習成績の状況が4.3以上の者」であることを出願要件とします。

(4) 医学部保健学科

AO入試Ⅱでは，これまで高等学校等の卒業見込であることを出願要件としてきましたが，令和３年度入試からは卒業後５年までに出願要件を拡張します。

また，出願要件として予告していた「高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.5以上である者」は，卒業時期に関わらず，出願要件から除外します。放射線技術科学専攻においては，「「数学Ⅰ～Ⅲ」又は「理数数学Ⅰ～Ⅱ」の科目を履修した者及び令和３年３月までに履修見込みの者」を出願要件とします。

(5) 農学生命科学部

分子生命科学科の総合型選抜Ⅱでは，大学入学共通テストの英語を選択科目から必須科目とし，生物学科と科目を統一します。

７．試験期日等の配慮

7-1．一般選抜の追試験実施

新型コロナウイルス感染症に罹患し治癒していない者，新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として自宅待機している者，試験当日に発熱・咳等の症状があり受験を取り止めた受験者のために，医師の診断書等の提出を条件として，一般選抜前期日程・後期日程において，３月22日に追試験を実施します。追試験は，本試験と同じ選抜方法により，弘前地区試験場のみで実施します。

7-2．大学入学共通テスト特例追試験受験者の試験日程

大学入学共通テスト特例追試験受験者の試験日程を，下記のとおり別途設定します。

総合型選抜Ⅱ：合格発表日２月22日，入学手続２月27日まで

一般選抜：出願期間２月15～18日

８．社会人入試

理工学部では，令和３年度入試から社会人入試の募集を取りやめます。

総合型選抜に合わせて試験日程を変更し，総合型選抜Ⅰと同一の日程で実施します。

９．私費外国人留学生入試

私費外国人留学生入試では，令和３年度入試から日本語能力の基準として「日本語能力試験」の成績がN2以上であることを出願要件に加えます。

2020年６月の日本留学試験が中止されたことに伴い，出願要件の対象とする試験を，「2019年度日本留学試験（６月又は11月）」及び「2020年度日本留学試験（11月）」のいずれかとし，本学が課す科目を受験していることを出願要件とします。

また，出願期間を，１月25日～２月５日に変更します。

なお，教育学部音楽専修の実技の選抜方法について，一部の課題を動画の事前提出にするとともに，試験当日の実施方法を変更します。

以　上

■ 弘前大学における三つの方針（ポリシー）

1．入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学は，「卒業認定･学位授与の方針」（ディプロマ･ポリシー）と「教育課程編成･実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めています。

- 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として，または多様な人々と協働して，国際社会や地域社会に参画していこうとする行動力
- 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け，知的・人格的に成長していこうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

■解説：入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学の入学者受入れの方針の「学力」「行動力」「意欲」といったキーワードには，入学時に学生が身に付けておくべき力と卒業時に学生が身に付けておくべき力の２つが含まれています。その理由は，大学教育を効果的に実践し，学生を主体的で能動的な知的探究者として社会に送り出していくためには，学生が入学前に身に付けて来た学力の芽を大きく育て，花開かせることが重要だと考えているからです。

学生が入学時に身に付けておくべき力とは，「学力の３要素」です。学力の３要素は，初等中等教育において身に付けるべき学力です。その内容は，①基礎的な知識・技能，②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力，③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，となっています。

また，卒業時に学生が身に付けるべき力とは，弘前大学の「卒業認定・学位授与の方針」や「教育課程編成・実施の方針」で掲げている「見通す力」「解決していく力」「学び続ける力」です。詳細は本学ホームページの該当部分を読んでみてください。

「学力」「行動力」「意欲」には，弘前大学の教育目的が内包されているため，「学力」「行動力」「意欲」は「学力の３要素」と完全一致しているわけではありません。ただし，教育理念の点で，両者は一致しています。よって，弘前大学の入学者選抜では，「学力の３要素」を多面的・総合的に評価します。

実際の入試の内容や方法は，学部や学科，あるいは入試形態によって異なります。詳細は各学部の入学者受入れの方針，入学者選抜要項・募集要項を確認してください。

２．教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

弘前大学は，学生の主体的・能動的な知的探究をとおして，学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

⑴　教養教育：教養教育は学生の探究の第一歩です。

－見通す力

学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで，複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促します。これにより，国際社会や地域社会が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。

－解決していく力

学生に国際社会や地域社会の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより，学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるよう導いていきます。

⑵　専門教育：専門教育は，学生の探究の集大成です。

－見通す力

学生に専門知識を体系的に教授することで，自然や社会への洞察を深化させます。

－解決していく力

学生に，専門知識を国際社会や地域社会の問題解決に応用したり，高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて専門家としての見識と職業倫理も，実践をとおして培います。

⑶　学士課程教育の再構築：学生の探究の過程こそが新しい学士課程の本質です。

－学び続ける力

卒業後，学生が国際社会や地域社会の一員として充実した生活を送るとともに，より良い社会の実現に貢献していくことができるように，学生の探究の習慣を確立します。

３．卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

弘前大学は，変化が激しく，将来予測が困難な時代にあってこそ力を発揮できる主体的・能動的な探究者を育み，高い倫理観をもって知的探究に取り組むための三つの力を身に付けた者に対して学位を授与します。

－　学際的な教養と高度な専門性を身に付け，学術的観点から自然や社会を見通す力
－　学術的な知識を具体的な実践へ移し，国際社会や地域社会の問題を解決していく力
－　常に新しい問題に挑戦し続け，生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

＊カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの解説は，ホームページでご覧いただけます。
https://www.hirosaki-u.ac.jp/policy/policy.html

■ 弘前大学の入学者選抜について

弘前大学では，入学時に身に付けておくべき「学力の３要素」を「学力」「行動力」「意欲」というキーワードを用いてアドミッション・ポリシーを定めています。弘前大学の入学者選抜は「一般選抜」，「総合型選抜」，「社会人入試」及び「私費外国人留学生入試」により実施し，本学及び各学部がアドミッション・ポリシーで明記している入学志願者に求める「学力」「行動力」「意欲」を多面的・総合的に評価します。

一般選抜

一般選抜は，大学入学共通テストと各学部が課す個別学力検査等の両方を用い，大学での学びに必要となる基礎学力に重点を置きつつ，「行動力」や「意欲」を含めた総合評価による選抜を実施します。

大学入学共通テストでは，「学力」のうち主として高等学校等で身に付けた「基礎的な知識・技能」を評価します。

各学部が課す個別学力検査等では，教科に関する筆記試験においては記述式問題に重点を置き，「学力」に定義される「思考力・判断力・表現力」を評価します。一部の学部においては，総合問題や小論文試験によって「思考力・判断力・表現力」を評価します。また，面接試験や出願書類により，「学力」のみならず「行動力」や「意欲」を評価します。試験の内容は，学部・学科等により異なります。

総合型選抜

総合型選抜は，大学入学共通テストを課さない総合型選抜Ⅰと大学入学共通テストを課す総合型選抜Ⅱにより実施します。

総合型選抜Ⅰでは，小論文試験や個人面接，講義に関するレポート等，多様な試験によって「学力」「行動力」「意欲」を多面的に評価します。試験の内容は，学部･学科等により異なります。総合型選抜Ⅰでは，大学入学共通テストの成績を合否判定には利用しませんが，勉学意欲継続の観点から，合格者に対しては大学入学共通テストを必ず受験することとしていましたが，今年度は任意受験とします。

総合型選抜Ⅱでは，大学入学共通テストにより高等学校等で身に付けた「基礎的な知識・技能」を評価するとともに，小論文試験，実技試験，集団面接や個人面接等により「学力」，「行動力」「意欲」を総合評価します。試験の内容は，学部・学科等により異なります。

社会人入試

社会人入試では，社会人経験を有する方を対象とし，各学部が課す小論文試験や面接試験等によって「学力」「行動力」「意欲」を評価します。試験の内容は，学部・学科等により異なります。

私費外国人留学生入試

私費外国人留学生入試では，日本国籍を有しない方を対象に，日本留学試験の成績と各学部が課す学力検査，小論文試験，面接試験等によって「学力」「行動力」「意欲」を評価します。試験の内容は，学部・学科等により異なります。なお，出願要件として「日本語能力試験」の成績がN2以上であることが必要となります。

一般選抜

一般選抜は，大学入学共通テスト及び下記の選抜方法により選抜を行います。

学部	学科・課程等	前期日程							後期日程				
		個別学力検査	総合問題	小論文	面接	出願書類 調査書（※1）	出願書類 志望理由書（※2）	2段階選抜（※3）	個別学力検査	小論文	面接	出願書類 調査書（※1）	出願書類 志望理由書（※2）
人文社会科学部	文化創生課程	●	×	×	×	○	●	×	×	●	×	○	●
	社会経営課程	●	×	×	×	○	●	×	×	●	×	○	●
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース	●	×	×	●	◎	×	×	×	×	●	◎	×
	中学校コース 国語専修	●	×	×	●	◎	×	×					
	中学校コース 社会専修	●	×	×	●	◎	×	×					
	中学校コース 数学専修	●	×	×	●	◎	×	×					
	中学校コース 理科専修	●	×	×	●	◎	×	×					
	中学校コース 音楽専修												
	中学校コース 美術専修												
	中学校コース 保健体育専修												
	中学校コース 技術専修	●	×	×	●	◎	×	×					
	中学校コース 家庭科専修	●	×	×	●	◎	×	×					
	中学校コース 英語専修	●	×	×	●	◎	×	×					
	特別支援教育専攻	●	×	×	●	◎	×	×					
	養護教諭養成課程	●	×	×	●	◎	×	×					
医学部	医学科	×	●	×	●	◎	◎	●					
	保健学科 看護学専攻	●	×	●	×	○	●	×					
	保健学科 放射線技術科学専攻	●	×	×	×	○	●	×					
	保健学科 検査技術科学専攻	●	×	×	×	○	●	×					
	保健学科 理学療法学専攻	●	×	●	×	○	●	×					
	保健学科 作業療法学専攻	●	×	●	×	○	●	×					
	心理支援科学科	●	×	×	×	○	●	×					
理工学部	数物科学科	●	×	×	×	○	●	×	●	×	×	○	●
	物質創成化学科	●	×	×	×	○	●	×	●	×	×	○	●
	地球環境防災学科	●	×	×	×	○	●	×	●	×	×	○	●
	電子情報工学科	●	×	×	×	○	●	×	●	×	×	○	●
	機械科学科	●	×	×	×	○	●	×	●	×	×	○	●
	自然エネルギー学科	●	×	×	×	○	●	×	●	×	×	○	●
農学生命科学部	生物学科	●	×	×	×	○	●	×	×	●	×	○	●
	分子生命科学科	●	×	×	×	○	●	×	×	●	×	○	●
	食料資源学科	●	×	×	×	○	●	×	×	●	×	○	●
	国際園芸農学科	●	×	×	×	○	●	×	×	●	×	○	●
	地域環境工学科	●	×	×	×	○	●	×	×	●	×	○	●

（※1）◎を付した学部等では，調査書を面接の参考資料とします。
　　○を付した学部等では，調査書は評価しませんが，提出は必須です。
（※2）●を付した学部等では，志望理由書を段階評価します。
　　◎医学部医学科では，志望理由書を面接の参考資料とします。
（※3）医学部医学科の2段階選抜の詳細は，15ページの「医学部医学科の2段階選抜の取扱い」を参照してください。

総合型選抜

総合型選抜Ⅰは，大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除して，下記の選抜方法により選抜を行います。

総合型選抜Ⅱは，大学入学共通テストを課し，個別学力検査は免除して，下記の選抜方法により選抜を行います。

学部	学科・課程等	総合型選抜Ⅰ 小論文	総合型選抜Ⅰ 講義及びレポート	総合型選抜Ⅰ 面接（※3）	総合型選抜Ⅰ 実技	総合型選抜Ⅰ 出願書類 調査書（※1）	総合型選抜Ⅰ 出願書類 志望理由書又は学習計画書（※2）	総合型選抜Ⅱ 小論文	総合型選抜Ⅱ 面接	総合型選抜Ⅱ 集団討論	総合型選抜Ⅱ ケーススタディの自学自習	総合型選抜Ⅱ ワークショップ（※4）	総合型選抜Ⅱ 出願書類 調査書（※1）	総合型選抜Ⅱ 出願書類 志望理由書（※2）
人文社会科学部	文化創生課程	●	×	●	×	○	●							
	社会経営課程	●	×	●	×	○	●							
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース							●	●	●	×	×	◎	●
	中学校コース 国語専修													
	中学校コース 社会専修													
	中学校コース 数学専修													
	中学校コース 理科専修													
	中学校コース 音楽専修	×	×	●	●	◎	×							
	中学校コース 美術専修	×	×	●	●	◎	×							
	中学校コース 保健体育専修	×	×	●	●	◎	×							
	中学校コース 技術専修													
	中学校コース 家庭科専修													
	中学校コース 英語専修													
	特別支援教育専攻							×	●	●	×	×	◎	●
	養護教諭養成課程							×	●	●	×	×	◎	●
医学部	医学科							×	●	×	●	×	◎	◎
	保健学科 看護学専攻							●	●	×	×	×	◎	●
	保健学科 放射線技術科学専攻							●	●	×	×	×	◎	●
	保健学科 検査技術科学専攻							●	●	×	×	×	◎	●
	保健学科 理学療法学専攻							●	●	×	×	×	◎	●
	保健学科 作業療法学専攻							●	●	×	×	×	◎	●
	心理支援科学科													
理工学部	数物科学科	×	●	●	×	◎	●							
	物質創成化学科	×	●	●	×	◎	●							
	地球環境防災学科	×	●	●	×	◎	●							
	電子情報工学科	×	●	●	×	◎	●							
	機械科学科	×	●	●	×	◎	●							
	自然エネルギー学科	×	●	●	×	◎	●							
農学生命科学部	生物学科							×	●	×	×	×	◎	●
	分子生命科学科							×	●	×	×	×	◎	●
	食料資源学科	●	×	●	×	◎	●							
	国際園芸農学科	●	×	●	×	◎	●							
	地域環境工学科	●	×	●	×	◎	●							

（※1）◎を付した学部等では，調査書を面接の参考資料とすることがあります。
　　○人文社会科学部では，調査書は評価しませんが，提出は必須です。
（※2）●人文社会科学部では，学習計画書を点数評価します。
　　●を付した学部等（人文社会科学部以外）では，志望理由書を段階評価します。
　　◎医学部医学科では，志望理由書を面接の参考資料とします。
（※3）教育学部（保健体育専修）では，スポーツ競技歴が分かる資料を面接の参考資料とします。
（※4）ワークショップは令和３年度選抜では実施しません。

社会人入試　**私費外国人留学生入試**

社会人入試は，大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除して，下記の選抜方法により選抜を行います。
私費外国人留学生入試は，日本留学試験及び下記の選抜方法により選抜を行います。

学部	学科・課程等	社会人入試		私費外国人留学生入試（※1）				
		小論文	面接	日本留学試験（※2）	個別学力検査	小論文	面接	実技
人文社会科学部	文化創生課程			○	×	●	●	×
	社会経営課程			○	×	●	●	×
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース			○	×	●	●	×
	中学校コース 国語専修			○	×	●	●	×
	中学校コース 社会専修			○	×	●	●	×
	中学校コース 数学専修			○	×	●	●	×
	中学校コース 理科専修			○	×	●	●	×
	中学校コース 音楽専修			○	×	×	●	●
	中学校コース 美術専修			○	×	×	●	●
	中学校コース 保健体育専修			○	×	●	●	×
	中学校コース 技術専修			○	×	●	●	×
	中学校コース 家庭科専修			○	×	●	●	×
	中学校コース 英語専修			○	×	●	●	×
	特別支援教育専攻			○	×	●	●	×
	養護教諭養成課程			○	×	●	●	×
医学部	医学科			●	●	●	●	×
	保健学科 看護学専攻	●	●	●	×	●	●	×
	保健学科 放射線技術科学専攻			●	×	●	●	×
	保健学科 検査技術科学専攻			●	×	●	●	×
	保健学科 理学療法学専攻	●	●	●	×	●	●	×
	保健学科 作業療法学専攻			●	×	●	●	×
	心理支援科学科			●	×	●	●	×
理工学部	数物科学科			○	×	×	●	×
	物質創成化学科			○	×	×	●	×
	地球環境防災学科			○	×	×	●	×
	電子情報工学科			○	×	×	●	×
	機械科学科			○	×	×	●	×
	自然エネルギー学科			○	×	×	●	×
農学生命科学部	生物学科	●	●	○	×	●	●	×
	分子生命科学科	●	●	○	×	●	●	×
	食料資源学科	●	●	○	×	●	●	×
	国際園芸農学科	●	●	○	×	●	●	×
	地域環境工学科	●	●	○	×	●	●	×

（※1）日本語能力の基準として，「日本語能力試験」の成績がN2以上であることを出願要件とします。
（※2）●を付した学部等では，日本留学試験の成績を段階評価します。
　　○を付した学部等では，日本留学試験の成績を総合判定の資料とします。

■ 募集人員

学部	学科・課程等	入学定員	募集人員 一般選抜 前期日程	募集人員 一般選抜 後期日程	募集人員 総合型選抜(※1) Ⅰ	募集人員 総合型選抜(※1) Ⅱ	募集人員 社会人入試	募集人員 私費外国人留学生入試
人文社会科学部	文化創生課程	110	60	15	35			若干名
	社会経営課程	155	国 55 数 35	(※2) 20	(※3) 45			若干名
	計	**265**	**150**	**35**	**80**			
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース	80	34	20		26		若干名
	中学校コース 国語専修	50	7					若干名
	社会専修		7					若干名
	数学専修		7					若干名
	理科専修		7					若干名
	音楽専修				3			若干名
	美術専修				3			若干名
	保健体育専修				5			若干名
	技術専修		3					若干名
	家庭科専修		3					若干名
	英語専修		5					若干名
	特別支援教育専攻	10	5			5		若干名
	養護教諭養成課程	20	14			6		若干名
	計	**160**	**92**	**20**	**11**	**37**		
医学部	医学科	112	青森県定着枠 15 一般枠 50			青森県内枠 27 北海道・東北枠 20		若干名
	保健学科 看護学専攻	80	50			30	若干名	若干名
	放射線技術科学専攻	40	24			16		若干名
	検査技術科学専攻	40	24			16		若干名
	理学療法学専攻	20	12			8	若干名	若干名
	作業療法学専攻	20	12			8		若干名
	小計	200	122			78		
	心理支援科学科	10	10					若干名
	計	**322**	**197**			**125**		
理工学部	数物科学科	78	数 19 数理 19	数 6 理 10	(※4) 24			若干名
	物質創成化学科	52	26	10	16			若干名
	地球環境防災学科	65	30	15	20			若干名
	電子情報工学科	55	29	9	(※5) 17			若干名
	機械科学科	80	36	20	(※6) 24			若干名
	自然エネルギー学科	30	9	12	9			若干名
	計	**360**	**168**	**82**	**110**			
農学生命科学部	生物学科	40	23	5		12	若干名	若干名
	分子生命科学科	40	20	8		12	若干名	若干名
	食料資源学科	55	26	12	17		若干名	若干名
	国際園芸農学科	50	25	10	(※7) 15		若干名	若干名
	地域環境工学科	30	15	6	9		若干名	若干名
	計	**215**	**109**	**41**	**41**	**24**		
合計		**1,322**	**716**	**178**	**242**	**186**		

(※1)「総合型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないものであり,「総合型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものです。
(※2) 人文社会科学部「一般選抜（前期日程)」の「国」は個別学力検査における国語選択者,「数」は数学選択者の募集人員です。
(※3) 人文社会科学部社会経営課程「総合型選抜Ⅰ」の募集人員45人には，専門高校枠（商業に関する高等学校，商業又は情報処理に関する学科，総合学科（商業又は情報の単位を20単位以上修得した者及び修得見込みの者)）８人を含みます。
(※4) 理工学部「一般選抜」の「数」は個別学力検査における数学選択者,「数理」は数学及び理科選択者,「理」は理科選択者の募集人員です。
(※5) 理工学部電子情報工学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員17人には，専門高校枠（高等学校等の工業又は商業に関する学科（高等専門学校の学科を含む）及び総合学科）４人を含みます。
(※6) 理工学部機械科学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員24人には，専門高校枠（高等学校等の工業に関する学科（高等専門学校の学科を含む)）２人を含みます。
(※7) 農学生命科学部国際園芸農学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員15人には，専門高校枠（高等学校等の農業，林業，水産，工業，商業，情報に関する学科）４人を含みます。
(注) 総合型選抜の合格者が募集人員に満たない場合の欠員は,「一般選抜（前期日程)」の募集人員に加えます。

■ 入学試験日程

一 般 選 抜

実施学部等 ＼ 日程		インターネット出願登録及び入学検定料支払期間	出願書類受付期間	試験実施日	合格者発表日	入学手続期限
一般選抜（前期日程）	人文社会科学部	1月22日（金）～2月5日（金） ※特例追試験受験者 2月12日（金）～2月18日（木）	1月25日（月）～2月5日（金） ※特例追試験受験者 2月15日（月）～2月18日（木）	2月25日（木）	3月6日（土）	3月15日（月）まで
	教育学部			2月25日（木）及び26日（金）		
	医学部 医学科			2月25日（木）		
	医学部 保健学科					
	医学部 心理支援科学科					
	理工学部					
	農学生命科学部					
一般選抜（後期日程）	人文社会科学部			3月12日（金）	3月20日（土）	3月26日（金）まで
	教育学部					
	理工学部					
	農学生命科学部					
追試験（前期日程・後期日程）	全学部	－	－	3月22日（月）	3月26日（金）	3月30日（火）まで

総合型選抜

実施学部等 ＼ 日程		インターネット出願登録及び入学検定料支払期間	出願書類受付期間	試験実施日	合格者発表日	入学手続期限
総合型選抜Ⅰ	人文社会科学部（文化創生課程）	9月28日（月）～10月7日（水）	10月1日（木）～10月7日（水）	11月7日（土）	11月26日（木）	2月17日（水）まで ※特例追試験受験者 2月27日（土）まで
	人文社会科学部（社会経営課程）			11月8日（日）		
	教育学部（音楽専修，美術専修）			11月7日（土）		
	教育学部（保健体育専修）			11月7日（土）及び8日（日）		
	理工学部			11月8日（日）		
	農学生命科学部（食料資源学科，国際園芸農学科，地域環境工学科）					
総合型選抜Ⅱ	教育学部（小学校コース，特別支援教育専攻，養護教諭養成課程）	9月28日（月）～10月7日（水）	10月1日（木）～10月7日（水）	11月7日（土）及び8日（日）	2月10日（水） ※特例追試験受験者 2月22日（月）	
	医学部医学科					
	医学部保健学科					
	農学生命科学部（生物学科，分子生命科学科）			11月8日（日）		

社会人入試

実施学部等 ＼ 日程	出願書類受付期間	試験実施日	合格者発表日	入学手続期限
医学部保健学科（看護学専攻，理学療法学専攻）	10月1日（木）～10月7日（水）	11月8日（日）	11月26日（木）	2月17日（水）まで
農学生命科学部				

私費外国人留学生入試

実施学部等 ＼ 日程	出願書類受付期間	試験実施日	合格者発表日	入学手続期限
全学部	1月25日（月）～2月5日（金）	2月25日（木）	3月6日（土）	3月15日（月）まで

※特例追試験受験者とは，大学入学共通テスト特例追試験（2月13日～14日）を受験した者

入学時期	**令和3（2021）年4月** ＊入学式は4月5日（予定）

Ⅰ．一 般 選 抜

１．一般選抜の実施方法等

一般選抜では，「前期日程」及び「後期日程」による「分離分割方式」で個別学力検査を実施します。ただし，教育学部（小学校コース除く）及び医学部では，「後期日程」での募集はしません。

1-1. 他大学及び本学学部間の併願

志願者は，「前期日程」から１つ，「後期日程」から１つの合計２つの国公立大学に出願することができます。したがって，「前期－後期」の併願は認められますが，「前期－前期」，「後期－後期」の併願は認められません。

また，本学学部間においても，「前期日程」から１つ，「後期日程」から１つの合計２つの学部又は同一学部の学科・課程等に併願することができます。

なお，併願を希望する場合は，それぞれに入学検定料を納め，出願書類を提出しなければなりません。

1-2. 入学者選抜方法

入学者の選抜は，令和３年度大学入学共通テストの成績と，本学が実施する個別学力検査･総合問題･小論文・面接及び出願書類の内容を総合評価して行います。

1-3. 医学部医学科の２段階選抜の取扱い

医学部医学科の２段階選抜は，前期日程の志願倍率が８倍を超えた場合に，大学入学共通テストの教科・科目（22ページ参照）の成績の合計点（1,000点満点）により行い，その合格者に個別学力検査等を行います。ただし，上記倍率を超えた場合でも個別学力検査等を適切に実施できると判断した場合は，第１段階選抜の倍率を緩和することがあります。

1-4. 医学部医学科の「青森県定着枠」と「一般枠」の取扱い

⑴ 「青森県定着枠」受験者のうち合計点の点数順に上位15人を「青森県定着枠」合格者とします。

⑵ 上記⑴の結果,「青森県定着枠」において不合格となった者を「一般枠」に組み入れます。すなわち，「一般枠」と「青森県定着枠（のうち不合格者）」を合わせて，上位50人を「一般枠」の合格者とします。

⑶ 上記において，面接の得点が低いと不合格になる場合があります。

２．出願資格

一般選抜に出願することができる者は，次のいずれかに該当し，かつ，出願する学部・学科等が定める令和３年度大学入学共通テストの利用教科・科目等（20～24ページの表参照）を全て受験する者とします。

⑴ 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和３年３月卒業見込みの者

⑵ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和３年３月修了見込みの者

⑶ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和３年３月31日までに修了見込みの者

⑷ 外国において，学校教育における12年の課程を修了した者及び令和３年３月31日までに修了見込みの者，又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

⑸ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和３年３月31日までに修了見込みの者

⑹　文部科学大臣の指定した者（昭和23年５月31日文部省告示第47号）
⑺　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）で，令和３年３月31日までに18歳に達する者
⑻　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和３年３月31日までに18歳に達する者

注１）出願資格⑻の入学資格認定を申請する者は，募集要項で締切を確認のうえ，あらかじめ入試課へ申し出てください。
注２）医学部医学科の「青森県定着枠」を受験できる者は，上記⑴～⑻のいずれかに該当し，かつ，卒業（医師国家試験合格を前提）後，下記の事項について遵守する者です。
①卒業後，直ちに弘前大学医学部附属病院又は医学研究科関連施設の臨床研修プログラムにしたがって臨床研修を行うこと。
②上記臨床研修修了後，引き続き弘前大学医学部附属病院又は医学研究科関連施設で医療に従事すること。
③上記①②の定めの下で，臨床研修開始後少なくとも９年間医療に従事すること。
④「医療従事」の範囲及び「医療従事期間中」の詳細について，別に示す確約書内容を遵守すること。

３．出願手続

一般選抜はインターネットを利用した出願となります。
インターネット出願サイトから登録を行い，入学検定料を払い込んだうえで，出願に必要な書類を出願期間内に本学に届くよう送付する必要があります。

3-1．出願書類等

出願に必要な書類等は，下記のとおりです。事前に，写真データ，令和３大学入学共通テスト成績請求票，調査書，志望理由書及び封筒等を準備してください。

出願書類等		内　容　等
A．全志願者共通		
	１．志願票等	１−１．志願票 インターネット出願サイトから必要事項を入力し，検定料払い込み完了後にＡ４サイズで印刷してください。
		１−２．写真データ インターネット出願サイトで登録する際に，写真データをアップロードしてください。 写真データは，カラー（10MBまで），出願前３ヶ月以内に撮影，上半身，脱帽，正面向きのものとします。
		１−３．令和３大学入学共通テスト成績請求票 「令和３年度大学入学共通テスト受験票」下部の「令和３大学入学共通テスト成績請求票」を所定の欄に貼付してください。 成績請求票は，「国公立前期日程用」と「国公立後期日程用」がありますので，貼り間違えないよう注意してください。
	２．調査書等	• 出身学校（高等学校長等）が作成した「調査書（厳封）」を提出してください。 • 出身学校の事情（廃校，被災，文書保管期間の超過等の理由）により「調査書」を提出できない場合は，「卒業証明書（厳封不要）」及び「成績証明書（厳封）又は単位修得証明書（厳封）」を提出してください。「成績証明書」等も提出できない場合は，その旨を書面（様式任意，自書・捺印）で申し出てください。 • 国際バカロレア資格，アビトゥア資格，バカロレア資格又はGCEA資格等により出願する場合は，「資格証書のコピー」及び「成績証明書」等を提出してください。 • 高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定合格者も同様）にあっては「合格成績証明書」を提出してください。なお，一時期でも高等学校に在籍したことがある場合は，その期間の「調査書（厳封）」，「成績証明書（厳封）」，「単位修得証明書（厳封）」のいずれかを併せて提出してください。 （注）調査書について １．既卒者については改正前の旧様式でも可とします。 ２．印刷形式については，Ａ４サイズの様式２枚をＡ３用紙１枚に印刷したものでも可とします。 ３．「備考欄（大学の希望により当該大学の学部等に対する能力・適正等について，特に高等学校長が推薦できる生徒についてはその旨記入することとされている欄）」については，本学では記載を求めません。
	３．入学検定料	インターネット出願サイト登録後に表示される支払い手続き画面に従って，入学検定料を払い込んでください。 ■入学検定料：　17,000円 （注）振込手数料は志願者負担となります。
	４．封　筒 （出願書類提出用）	角形２号（240mm×332mm）の封筒を各自用意してください。インターネット出願サイトから印刷した「宛名シート」を貼付し，必要書類を封入して郵送してください。 前期日程・後期日程ともに出願する場合は，封筒を２枚用意し，それぞれの必要書類を封入し，郵送してください。
B．人文社会科学部，医学部医学科，医学部保健学科　志願者		
	志望理由書	インターネット出願サイトトップページから様式(PDF版)をダウンロードし，印刷のうえ，志願者本人の自書により記載したものを提出してください。
C．医学部心理支援科学科，理工学部，農学生命科学部　志願者		
	志望理由書	インターネット出願サイトトップページから様式（MicrosoftExcel版）をダウンロードし，直接入力したものを印刷して提出してください。（自書不可）
D．医学部医学科　志願者のみ		
	１．封　筒 （第１段階選抜通知用）	長形３号（120mm×235mm）の封筒を各自用意し，宛先（志願者住所，氏名）を明記し郵便切手（374円分）を貼付して提出してください。
	２．確約書 （「青森県定着枠」志願者のみ）	インターネット出願サイトトップページから様式（PDF版）をダウンロードし，Ａ４サイズで両面印刷のうえ，志願者及び保証人本人が該当欄に自書・捺印したものを提出してください。

注）証明書等は，「コピー」と指示がない限り全て原本を提出してください。

一般選抜

４．試験実施教科・科目等に関する留意事項

4-1．大学入学共通テスト

大学入学共通テストにおいて，本学の指定した教科・科目を受験しない場合は，出願資格がなくなりますので，各学部の実施教科・科目及び配点等を参照のうえ，科目名，科目数には十分注意してください。

本学では，過年度の大学入試センター試験の成績は利用しません。

学部・学科等名 ＼ 利用教科・科目		国語	地理歴史						公民				数学①		数学②				理科								外国語	
		国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理，政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語（リスニング含む）	
人文社会科学部		◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	6教科7科目 又は 6教科8科目
			1						1				1又は2						1から3									
																			3又は4									
教育学部		◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	5教科7科目 から 6教科8科目
			1又は2										1又は2						1から3									
														5又は6														
医学部	医学科	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎ 1	×	◎ 1	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	◎ 1	5教科7科目
			1																				2					
	保健学科	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎ 1	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	◎ 1	5教科7科目
			1													1							2					
	心理支援科学科	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	5教科7科目 から 6教科8科目
			1又は2										1又は2						1から3									
														5又は6														
理工学部		◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	◎ 1	5教科7科目 又は 5教科8科目
			1										1		1				2又は3									
農学生命科学部		◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	5教科7科目 又は 5教科8科目
			1										1		1				2又は3									

（注１） ◎は必須，●はいずれか1科目を必ず含むもの，○は選択科目を示しています。
（注２） □囲みの数字は受験科目数を表しています。
（注３） 大学入学共通テストで受験できる教科・科目の組み合わせについては，大学入学共通テストの受験案内で確認してください。
（注４） 地理歴史においては，A・B出題科目，公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
（注５） 理科についてはAからDの選択パターンがあります。

A	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から2科目選択
B	物理，化学，生物，地学から1科目選択
C	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から2科目選択及び 物理，化学，生物，地学から1科目選択（同一名称を含む科目同士の選択も認める）
D	物理，化学，生物，地学から2科目選択

（注６） 英語には，リスニングを含みます。リスニングを受験しない場合は，出願資格がなくなります。ただし，リスニングを免除された者は除きます。
配点については，リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計得点を素点として利用します。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディングの成績を200点満点に換算して素点として利用します。
大学入学共通テスト特例追試験受験者の英語の配点は，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を，200点満点にして換算して素点として利用します。

4-2. 個別学力検査等

志望する学科等が課す全ての個別学力検査等（20～24ページ参照）を受験しなければ，合格者とはなりません。

1．「数学B」の出題範囲は，「数列，ベクトル」とします。

2．「数学Ⅲ」及び「理科」の出題に関し，教科書において「発展的な学習内容」として記載されている内容から出題する場合は，設問中に補足事項を記載するなどの配慮をします。

3．「理科」の得点については，得点調整を行うことがあります。

4．「入試過去問題活用宣言」について

本学は「入試過去問題活用宣言」に参加しており，アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認められる範囲で「宣言参加大学」及び「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。入試過去問題を使用する際は，そのまま使用することも，一部改変することもあります。また，使用した場合には，試験終了後，本学ホームページ上で公表します。

５．各学部の試験実施教科・科目及び配点等

人文社会科学部

学力検査等の日程・実施する学科等名		大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 教科等	科目名等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点 試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	出願書類	計	合計点
前期	文化創生課程 社会経営課程（国語選択）	国 地歴 公民 数 理 外	国語　を１ 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B　から１ 現社, 倫, 政経, 倫政経　から１ 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報　から１又は２ 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学　から１～３ （から３又は４） 英語　を１ ［６教科７科目又は６教科８科目］	国 外 その他	国語総合 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ 出願書類（志望理由書）	共通	200	100	100	100又は200	100又は200	200			900	1,600
						個別	300					300		100	700	
	社会経営課程（数学選択）			数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B（※１） コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ 出願書類（志望理由書）	共通	200	100	100	100又は200	100又は200	200			900	1,600
						個別				300		300		100	700	
後期	文化創生課程 社会経営課程			その他 その他	小論文（※２） 出願書類（志望理由書）	共通	200	100	100	100又は200	100又は200	200			900	1,900
						個別							900	100	1,000	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】
○大学入学共通テストの受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は，得点の高い教科・科目の成績を用います。
　ただし，「理科」については，第１解答科目の成績を優先して用います。
○「理科」については，Ａ～Ｄのいずれかのパターンから選択してください。（18ページ参照）
　なお，「数学」，「理科」の組み合わせで成績を利用しますので，科目数不足とならないよう注意してください。
　（例）「数学」が１科目の場合は，「理科」はＣまたはＤパターンでの受験が必要です。

【個別学力検査等】
（※１）「数学Ｂ」の出題範囲は，「数列，ベクトル」とします。
（※２）「小論文」は２つの試験時間に分けられており，どちらも受験する必要があります。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】
○出願書類については，出願書類（志望理由書）をＡ～Ｄに４段階評価し，点数化します。
　各段階の評価点数は，Ａ：100点，Ｂ：90点，Ｃ：80点，Ｄ：35点とします。

学力検査等の日程・実施する学科等名				大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 教科等	科目名等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点 試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	計	合計点
前期	学校教育教員養成課程	初等中等教育専攻	小学校コース	国	国語 を1	国 数 理 外	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(※1) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ,英語表現Ⅰ・Ⅱ から1	共通	200	100又は200		100又は200	100又は200	200		900	1,400
				地歴 公民	世A,世B,日A,日B,地理A,地理B 現社,倫,政経,倫政経 から1又は2	その他	個人面接(※2)	個別	*400			*400	*400	*400	100	500	
			中学校コース 国語専修	数 理 外	数Ⅰ,数Ⅰ・数A,数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報 から1又は2 物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎,物理,化学,生物,地学 から1～3 から5又は6 英語 を1 ［5教科7科目から6教科8科目］	国 その他	国語総合 個人面接(※2)	共通	200	100又は200		100又は200	100又は200	200		900	1,400
								個別	400						100	500	
			社会専修			国 その他	国語総合 個人面接(※2)	共通	200	100又は200		100又は200	100又は200	200		900	1,400
								個別	400						100	500	
			数学専修			数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(※1) 個人面接(※2)	共通	200	100又は200		100又は200	100又は200	200		900	1,400
								個別				400			100	500	
			理科専修			理 その他	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 から1 個人面接(※2)	共通	200	100又は200		100又は200	100又は200	200		900	1,400
								個別					400		100	500	
			技術専修			数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(※1) 個人面接(※2)	共通	200	100又は200		100又は200	100又は200	200		900	1,400
								個別				400			100	500	
			家庭科専修			国 その他	国語総合 個人面接(※2)	共通	200	100又は200		100又は200	100又は200	200		900	1,400
								個別	400						100	500	
			英語専修			外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ,英語表現Ⅰ・Ⅱ 個人面接(※2)	共通	200	100又は200		100又は200	100又は200	200		900	1,400
								個別						400	100	500	
		特別支援教育専攻				国 数 その他	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(※1) から1 個人面接(※2)	共通	200	100又は200		100又は200	100又は200	200		900	1,400
								個別	*400			*400			100	500	
	養護教諭養成課程					理 その他	化学基礎・化学 生物基礎・生物 から1 個人面接(※2)	共通	200	100又は200		100又は200	100又は200	200		900	1,400
								個別					400		100	500	
後期	学校教育教員養成課程	初等教育専攻	小学校コース			その他	個人面接(※2)	共通	200	100又は200		100又は200	100又は200	200		900	1,100
								個別							200	200	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】
○大学入学共通テストの受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は，得点の高い教科・科目の成績を用います。
ただし，「地歴」，「公民」及び「理科」については，第1解答科目の成績を優先して用います。
○「理科」については，A～Dのいずれかのパターンから選択してください。(18ページ参照)
なお，「地歴」，「公民」，「数学」，「理科」の組み合わせで成績を利用しますので，科目数不足とならないよう注意してください。
（例）「地歴」，「公民」か「数学」のどちらかが1科目の場合は，「理科」はC又はDパターンでの受験が必要です。

【個別学力検査等】
（※1）「数学B」の出題範囲は，「数列，ベクトル」とします。
（※2） 面接は，事前に提出される「調査書」を参考資料に用いて実施します。なお，面接の得点が低いと不合格になる場合があります。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】
○配点に*印を付している教科は，選択を表します。

一般選抜

医　学　部

学力検査等の日程・実施する学科等名		大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 教科等	科目名等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点 試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	面接	出願書類	計	合計点
前期	医学科	国 地歴 公民 数 理 外	国語　を1 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B　から1 現社, 倫, 政経, 倫政経 数Ⅰ・数A　を1 数Ⅱ・数B　を1 物理, 化学, 生物　から2 英語　を1 ［5教科7科目］	その他	総合問題 個人面接（※1）	共通	200	100		200	300	200					1,000	1,500
						個別							300		200		500	
	保健学科 看護学専攻	国 地歴 公民	国語　を1 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B　から1 現社, 倫, 政経, 倫政経	数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B（※2） コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ　から1 小論文 出願書類（志望理由書）	共通	200	100		200	200	200					900	1,340
						個別				*200		*200		200		40	440	
	保健学科 放射線技術科学専攻	数 理 外	数Ⅰ・数A　を1 数Ⅱ・数B, 情報　から1 物理, 化学, 生物　から2 英語　を1 ［5教科7科目］	数 理 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（※2） 物理基礎・物理 出願書類（志望理由書）	共通	200	100		200	200	200					900	1,340
						個別				200	200					40	440	
	保健学科 検査技術科学専攻			理 外 その他	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物　から1 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ 出願書類（志望理由書）	共通	200	100		200	200	200					900	1,340
						個別					200	200				40	440	
	保健学科 理学療法学専攻			数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B（※2） コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ　から1 小論文 出願書類（志望理由書）	共通	200	100		200	200	200					900	1,340
						個別				*200		*200		200		40	440	
	保健学科 作業療法学専攻			数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B（※2） コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ　から1 小論文 出願書類（志望理由書）	共通	200	100		200	200	200					900	1,340
						個別				*200		*200		200		40	440	
	心理支援科学科	国 地歴 公民 数 理 外	国語　を1 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B　から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B　から1又は2 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学　から1～3 から5又は6 英語　を1 ［5教科7科目から6教科8科目］	国 数 外 その他	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B（※2）　から1 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ 出願書類（志望理由書）	共通	200	100又は200		100又は200	100又は200	200					900	1,340
								500										
						個別	*200			*200		200				40	440	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】
○大学入学共通テストの受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は，得点の高い教科・科目の成績を用います。
　ただし，医学科及び保健学科においては，「地歴」，「公民」について，第1解答科目の成績を用います。
　また，心理支援科学科においては，「地歴」，「公民」及び「理科」について，第1解答科目の成績を優先して用います。
○医学科及び保健学科では，「理科」についてはDパターンを選択してください。（18ページ参照）ただし，地学は選択対象外です。
○心理支援科学科では，「理科」についてはA～Dのいずれかのパターンから選択してください。（18ページ参照）
　なお，「地歴」，「公民」，「数学」，「理科」の組み合わせで成績を利用しますので，科目数不足とならないよう注意してください。
　（例）「地歴」，「公民」か「数学」のどちらかが1科目の場合は，「理科」はC又はDパターンでの受験が必要です。

【個別学力検査等】
（※1）　医学科の面接は，事前に提出される「調査書」及び「志望理由書」を参考資料に用いて実施します。なお，面接の得点が低いと不合格になる場合があります。
（※2）「数学B」の出題範囲は，「数列，ベクトル」とします。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】
○医学科では，大学入学共通テストの「理科」の配点について，物理，化学，生物から選択した2科目の得点をそれぞれ1.5倍して合計した点数を利用します。
○配点に＊印を付している教科は，選択を表します。
○保健学科及び心理支援科学科では，出願書類（志望理由書）をA～Dに4段階評価し，点数化します。
　各段階の評価点数は，A：40点，B：30点，C：20点，D：10点とします。

学力検査等の日程・実施する学科等名		大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	出願書類	計	合計点
前期	数物科学科（数学選択）	国 地歴 公民 数	国語　を1 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経　から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A　から1	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（※1，2） 出願書類（志望理由書）	共通	200	100		200	200	200		900	1,800
						個別				800			100	900	
	数物科学科（数学理科選択） 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科	理 外	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報　から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学　から2又は3 英語　を1 ［5教科7科目又は5教科8科目］	数 理 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（※1） 物理基礎・物理 化学基礎・化学　から1 出願書類（志望理由書）	共通	200	100		200	200	200		900	1,800
						個別				300	500		100	900	
後期	数物科学科（数学選択）			数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（※1） 出願書類（志望理由書）	共通	200	100		200	200	200		900	1,600
						個別				600			100	700	
	数物科学科（理科選択） 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科			理 その他	物理基礎・物理 化学基礎・化学　から1 出願書類（志望理由書）	共通	200	100		200	200	200		900	1,600
						個別					600		100	700	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】
○大学入学共通テストの受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は，得点の高い教科・科目の成績を用います。
　ただし，「地歴」，「公民」については，第1解答科目の成績を用います。
○理科については，C又はDのパターンを選択してください。（18ページ参照）ただし，いずれの選択においても「物理基礎」，「物理」，「化学基礎」，「化学」から1科目を含む必要があります。

【個別学力検査等】
（※1）「数学B」の出題範囲は，「数列，ベクトル」とします。
（※2） 数物科学科（数学選択）前期日程の「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」は2つの試験時間に分かれており，どちらも受験する必要があります。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】
○出願書類については，出願書類（志望理由書）をA～Dに4段階評価し，点数化します。
　各段階の評価点数は，A：100点，B：80点，C：60点，D：20点とします。

農学生命科学部

学力検査等の日程・実施する学科等名		大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	出願書類	計	合計点
前期	生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科	国 地歴 公民 数 理 外	国語 を1 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫政経 ― から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 ― から2又は3 英語 を1 ［5教科7科目又は5教科8科目］	理 その他	化学基礎・化学 ― から1 生物基礎・生物 出願書類（志望理由書）	共通	200	100		200	200	200			900	1,350
						個別					400			50	450	
	地域環境工学科			数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B（※1） 出願書類（志望理由書）	共通	200	100		200	200	200			900	1,350
						個別				400				50	450	
後期	生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科			その他	小論文 出願書類（志望理由書）	共通	200	100		300	300	300			1,200	1,450
						個別							200	50	250	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】
○大学入学共通テストの受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は，得点の高い教科・科目の成績を用います。
　ただし，「地歴」,「公民」については，第1解答科目の成績を用います。
○理科については，C又はDのパターンを選択してください。（18ページ参照）

【個別学力検査等】
（※1）「数学B」の出題範囲は，「数列，ベクトル」とします。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】
○出願書類については，出願書類（志望理由書）をA～Dに4段階評価し，点数化します。
　各段階の評価点数は，A：50点，B：40点，C：30点，D：10点とします。
○後期日程では，「数学」,「理科」,「外国語」の点数（200点満点）を300点満点に換算して利用します。
　なお，「数学」及び「理科」の配点については，選択した各科目の得点をそれぞれ1.5倍して合計した点数を利用します。

6．個別学力検査の評価方法等

6-1．出題方針・出題形式等

教科・科目等	日程	出題範囲	出題方針・出題形式等
国語	前期	国語総合	長文の読解や記述に重点を置いた問題を課すことによって，語彙力・文法力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価します。 現代文では，長文全体の論理展開や論旨を的確に把握し，それを自らの言葉で論理的に表現できるという点を評価します。古文および漢文では，基礎知識をもとに文章を的確に把握することを求め，登場人物の言動および心情等を問うもの，問題文全体の論旨を問うもの等，多様な論述問題を課します。
数学	前期 ・ 後期	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B *「数B」の出題範囲は，「数列，ベクトル」とします。	複数の単元における数学的知識を関連付けて考察する論理的思考力を評価します。問題作成にあたっては，基本事項の概念を正しく捉えているか，定理，公式などを正しく活用できるかを問うこととし，公式や解法の暗記だけでは解決できないような問題も出題します。評価にあたっては，題意を正確に理解しているか，正しく計算できているか，また，見つけ出した考えや解答に至るまでの道筋を適切に述べることができているかの観点を重視します。
物理	前期 ・ 後期	物理基礎・物理	物理現象について記述した文章題を出題することを基本とし，問題文の内容を読み解いて解答に必要な物理法則を選択する判断力，答えを導くまでの論理的思考力およびその過程を記述する表現力を評価します。評価にあたっては，基本的な原理や法則を活用し最終的な解答に至るまでの過程を適切に記述できているかどうかを重視します。
化学	前期 ・ 後期	化学基礎・化学	物質およびそれらが関わる化学的事象に関する問題を出題し，理解度と化学的思考力を評価します。化学の基本的な概念と原理・法則を活用することで，物質の構造，性質および反応を論理的に考察し記述できるかを問います。評価にあたっては，最終的な解答に至るまでの過程を適切に記述できているかどうかを重視します。
生物	前期	生物基礎・生物	生物や生物現象に関する問題を出題し，生物学の知識・理解度を評価するとともに，観察結果・実験データなどの内容を適切に解釈し，答えを導くまでの論理的思考力・判断力・表現力を評価します。特に生物学の基本的な概念や原理・法則を活用し，最終的な解答に至るまでの過程を適切に記述できているかどうかを重視します。
英語	前期	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 英語表現Ⅰ・Ⅱ	英語の文章を正確に理解し，その内容を的確にまとめ，それについての自らの意見を論理的に述べるために必要な英語のコミュニケーション能力を評価します。 以上の能力を問うために，（1）まとまった内容の英文を読解し，その概要・要点を把握できること，（2）英語の語彙や，英語の文法・構文についての正しい知識を持っていること，（3）さまざまな場面での英語の会話の構成を的確に理解できること，（4）英文のエッセイを作成できること等に重点をおいて，論理的な思考力・読解力・表現力等を評価するための問題を課します。
総合問題 （医学部医学科）	前期	日本語又は英語の文章や図表などの資料を用い，そこから得られる情報と意味の理解度を評価します。これまで授業で学んだ知識を関連付け，多面的・多角的に考察し，考察の過程や結論に至る根拠を記述できる力を重視します。例えば，教科書等で扱われていない初見の内容であっても，資料の意味するところを読み解き，科学的思考に基づき考察する問題などを出題することもあります。また，英語での解答や計算を求めることもあります。	

一般選抜

小論文 （医学部保健学科）	前期	保健医療専門職を目指す学生にふさわしい基礎的学力，協調性，向上心，研究心を測るため，保健医療分野（人間，社会，環境，健康，医療，福祉など）にかかわる課題を提示して論述させます。また，資料や文献を与え，論述させることもあります。問題意識，洞察力，論理構成力，表現力，適性などを重視します。
小論文 （人文社会科学部）	後期	人間の営みや現代社会が直面している課題等について，資料として提示された文献等をふまえて，自らの意見を述べるという論述形式の問題を課します。自らの考えを筋道立てて組み立て，それを制限字数内で論理的で説得力のある文章として表現することが求められます。 資料として提示された文献等の内容を十分に理解していること，設問に対して自分の考えを論理的に述べていること，日本語の文章表現として適切であること等が評価のための判断の基準となります。
小論文 （農学生命科学部）	後期	農学生命科学部で重要な教育研究分野である農学や生命科学に関連するテーマについて出題します。資料として提示された文献や図表の内容を十分に理解した上で，出された問いに対する自らの考えを論述してもらいます。図表に記載される観察結果・実験データ等を適切に解釈し，結論を導くまでの過程や文章の表現内容を重視して，論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

6-2. 面接の実施方法・評価方法等

<table>
<tr><th colspan="5">学部・学科等</th><th>日程</th><th>実施方法・評価方法等</th></tr>
<tr><td rowspan="11">教育学部</td><td rowspan="10">学校教育教員養成課程</td><td rowspan="9">初等中等教育専攻</td><td colspan="2">小学校コース</td><td>前期</td><td>複数の教員により受験者１人ずつの面接を行う。
１人当たり12分程度
調査書を面接の際の参考資料として使用する。

質疑応答等をとおして，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">小学校コース</td><td>後期</td><td>複数の教員により受験者１人ずつの面接を行う。
１人当たり15分程度
調査書を面接の際の参考資料として使用する。

質疑応答等をとおして，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">中学校コース</td><td>国語専修</td><td>前期</td><td rowspan="8">複数の教員により受験者１人ずつの面接を行う。
１人当たり12分程度
調査書を面接の際の参考資料として使用する。

質疑応答等をとおして，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。</td></tr>
<tr><td>社会専修</td><td>前期</td></tr>
<tr><td>数学専修</td><td>前期</td></tr>
<tr><td>理科専修</td><td>前期</td></tr>
<tr><td>技術専修</td><td>前期</td></tr>
<tr><td>家庭科専修</td><td>前期</td></tr>
<tr><td>英語専修</td><td>前期</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別支援教育専攻</td><td>前期</td></tr>
<tr><td colspan="3">養護教諭養成課程</td><td>前期</td></tr>
<tr><td>医学部</td><td colspan="4">医学科</td><td>前期</td><td>複数の教員で将来性，積極性，信頼感，自己統制，社会性を受験者１人ずつに問う面接（複数の教員で１人の受験者を面接する方式）を行う。
１人当たり15分程度
出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。</td></tr>
</table>

6-3. 出願書類の記載内容・評価方法等

学部・学科	記載内容・評価方法等
人文社会科学部	【調査書】 令和３年度一般選抜では評価対象としない。 【志望理由書】 志望理由について，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を元に記述させる。専門分野に対する興味・関心などが高いか等を判断基準として,「行動力」及び「意欲」を評価する。 【評価方法等】 出願書類（志望理由書）はＡ～Ｄに４段階評価し，点数化する。 各段階の評価点数は，Ａ：100点，Ｂ：90点，Ｃ：80点，Ｄ：35点とする。
教育学部	【調査書】 面接の参考資料とする。
医学部医学科	【調査書・志望理由書】 面接の参考資料とする。
医学部保健学科	【調査書】 令和３年度一般選抜では評価対象としない。 【志望理由書】 志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を基に自分の考えを記入させる。 本学科に対する理解や，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより,「行動力」及び「意欲」を評価する。 【評価方法等】 出願書類（志望理由書）はＡ～Ｄに４段階評価し，点数化する。 各段階の評価点数は，Ａ：40点，Ｂ：30点，Ｃ：20点，Ｄ：10点とする。
医学部心理支援科学科	【調査書】 令和３年度一般選抜では評価対象としない。 【志望理由書】 志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を基に自分の考えを記入させる。 本学科に対する理解や，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより,「行動力」及び「意欲」を評価する。 【評価方法等】 出願書類（志望理由書）はＡ～Ｄに４段階評価し，点数化する。 各段階の評価点数は，Ａ：40点，Ｂ：30点，Ｃ：20点，Ｄ：10点とする。
理工学部	【調査書】 令和３年度一般選抜では評価対象としない。 【志望理由書】 志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から,「行動力」及び「意欲」を評価する。 【評価方法等】 出願書類（志望理由書）はＡ～Ｄに４段階評価し，点数化する。 各段階の評価点数は，Ａ：100点，Ｂ：80点，Ｃ：60点，Ｄ：20点とする。
農学生命科学部	【調査書】 令和３年度一般選抜では評価対象としない。 【志望理由書】 志望理由，将来への展望，自己ＰＲなどについて，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を基に記入する。 本学部に対する理解や，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより,「行動力」,「意欲」を評価する。 【評価方法等】 出願書類（志望理由書）はＡ～Ｄに４段階評価し，点数化する。 各段階の評価点数は，Ａ：50点，Ｂ：40点，Ｃ：30点，Ｄ：10点とする。

6-4. 合否判定基準

人文社会科学部	【前期日程・後期日程】 1．大学入学共通テスト，個別学力検査及び出願書類（志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。 2．総得点が同点の場合は，個別学力検査，大学入学共通テストの順序で得点の高い者を上位とする。
教育学部	【前期日程・後期日程】 1．大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総得点順に合格者を決定する。 2．総得点が同点の場合は，個別学力検査等の得点の高い者を上位とする。 3．個人面接の得点が低いと不合格になることがある。
医学部	○医学科 【前期日程】 1．大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総得点順に合格者を決定する。 2．総得点が同点の場合は，個別学力検査等の得点の高い者を上位とする。 3．個人面接の得点が低いと不合格になることがある。
	○保健学科 【前期日程】 1．大学入学共通テスト，個別学力検査等及び出願書類（志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。 2．総得点が同点の場合は，個別学力検査等，大学入学共通テストの順序で得点の高い者を上位とする。
	○心理支援科学科 【前期日程】 1．大学入学共通テスト，個別学力検査及び出願書類（志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。 2．総得点が同点の場合は，個別学力検査，出願書類の順序で得点の高い者を上位とする。
理工学部	【前期日程・後期日程】 1．大学入学共通テスト，個別学力検査及び出願書類（志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。 2．総得点が同点の場合は，個別学力検査，大学入学共通テストの順序で得点の高い者を上位とする。
農学生命科学部	【前期日程・後期日程】 1．大学入学共通テスト，個別学力検査等及び出願書類（志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。 2．総得点が同点の場合は，個別学力検査等，大学入学共通テストの順序で得点の高い者を上位とする。

7．試験会場

前期日程では，受験者の利便性を考慮し，本学所在地以外にも試験場を設けて試験を実施します。
各試験場において試験を実施する学部・学科等は下記のとおりです。
なお，後期日程は，弘前地区試験場のみでの実施となります。

学部等名	試　験　場			
	前期日程			後期日程
	(1) 弘前地区	(2) 八戸地区	(3) 札幌地区	弘前地区
人文社会科学部	○	○	○	○
教育学部	○	×	×	○
医学部 医学科	○	×	×	
医学部 保健学科	○	○	○	
医学部 心理支援科学科	○	○	○	
理工学部	○	○	○	○
農学生命科学部	○	○	○	○

(1) 弘前地区　弘前大学の校舎・施設等を予定しています。
　　医学部医学科は，青森県立弘前高等学校校舎を予定しています。
(2) 八戸地区　ユートリー（青森県八戸市一番町１丁目９-22）
(3) 札幌地区　札幌コンベンションセンター（北海道札幌市白石区東札幌６条１丁目１-１）

注）試験場に関するご質問は，弘前大学学務部入試課へお願いします。
　　弘前高等学校，ユートリー及び札幌コンベンションセンターへは問い合わせないでください。

8．追試験

新型コロナウイルス感染症に罹患し治癒していない者，新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として自宅待機している者，試験当日に発熱・咳等の症状があり受験を取り止めた受験者のために，医師の診断書（証明書）等の提出を条件として，一般選抜前期日程・後期日程において，下記の日程で追試験を実施します。

追試験日：令和３年３月22日（月）

※追試験は，本試験と同じ選抜方法により，弘前地区試験場のみで実施します。詳細は一般選抜学生募集要項（11月公表予定）で確認してください。

Ⅱ．総 合 型 選 抜

１．総合型選抜の実施方法等

総合型選抜Ⅰは，大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除して選抜を行います。本学が実施する小論文試験等を全て受験していない場合には，合格者とはなりません。

総合型選抜Ⅱは，大学入学共通テストを課し，個別学力検査は免除して選抜を行います。本学が指定した大学入学共通テストの教科・科目（英語のリスニングを受験しない場合も含む。ただし，リスニングを免除された者は除く。）及び本学が実施する小論文試験等を全て受験していない場合には，合格者とはなりません。

総合型選抜Ⅰ・Ⅱの合格者が募集人員に満たない場合は，その不足した人員を一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

1-1. 出願手続

総合型選抜はインターネットを利用した出願となります。

インターネット出願サイトから登録を行い，入学検定料を払い込んだうえで，出願に必要な書類を出願期間内に本学に届くよう送付する必要があります。

1-2. 出願書類等

出願に必要な書類等は，下記のとおりです。事前に，写真データ，調査書，志望理由書等及び封筒等を準備してください。

総合型選抜Ⅱの志願者は，大学入試センターから送付される「令和３大学入学共通テスト成績請求票」を提出してください（12月中旬）。

出願書類等		内　容　等
A．全志願者共通（総合型選抜Ⅰ，Ⅱ）		
	１．志願票等	１−１　志願票 インターネット出願サイトから必要事項を入力し，検定料払い込み完了後にＡ４サイズで印刷してください。
		１−２ 写真データ インターネット出願サイトで登録する際に，写真データをアップロードしてください。 写真データは，カラー（10MBまで），出願前３ヶ月以内に撮影，上半身，脱帽，正面向きのものとします。
	２．調査書	出身学校長が作成し，厳封したものを提出してください。 （注）調査書について １．既卒者については改正前の旧様式でも可とします。 ２．印刷形式については，Ａ４サイズの様式２枚をＡ３用紙１枚に印刷したものでも可とします。 ３．「備考欄（大学の希望により当該大学の学部等に対する能力・適正等について，特に高等学校長が推薦できる生徒についてはその旨記入することとされている欄）」については，本学では記載を求めません。
	３．入学検定料	インターネット出願サイト登録後に表示される支払い手続き画面に従って，入学検定料を払い込んでください。 ■入学検定料：　17,000円 （注）振込手数料は志願者負担となります。
	４．封　筒 （出願書類提出用）	角形２号（240mm×332mm）の封筒を各自用意してください。インターネット出願サイトから印刷した「宛名シート」を貼付し，必要書類を封入して郵送してください。

B．人文社会科学部　志願者		
	学習計画書	インターネット出願サイトトップページから様式（PDF版）をダウンロードし，Ａ４サイズで両面印刷のうえ，志願者本人の自書により記載したものを提出してください。
C．教育学部（保健体育専修）　志願者		
	スポーツ競技歴が分かる資料 （学校教育教員養成課程初等中等教育専攻中学校コース保健体育専修の該当する者のみ提出）	学校教育教員養成課程初等中等教育専攻中学校コース保健体育専修では，スポーツ競技歴が分かる資料を面接の参考資料とします。 校内外における体育的活動ならびにスポーツ活動について，競技成績を証明する資料がある場合，各々コピーして提出してください。 なお，令和２年度の活動については，練習などの活動をまとめた文書を提出しても構いません。（様式自由） ※Ａ４サイズ（片面）５枚以内で提出してください。 ※全ての資料の裏面に氏名を記載してください。 ※面接の参考資料とするものであり，評価対象ではありませんので，提出できる資料がない場合は不要です。
D．教育学部（音楽・美術・保健体育専修を除く）　志願者		
	志望理由書	インターネット出願サイトトップページから様式（Microsoft Word版 又はPDF版）をダウンロードし，指定された枠内に志望理由と活動実績を自由な形式で記載したものを提出してください。 ※パソコン等で直接入力したものでも，自書により記載したものでも構いません。 ※Ａ４サイズ（片面）１枚で提出してください。 ※写真や紙等を貼り付けて作成する場合は，貼り付けた様式をコピーしたものを原本として提出してください。
E．医学部医学科，医学部保健学科　志願者		
	志望理由書	インターネット出願サイトトップページから様式（PDF版）をダウンロードし，Ａ４サイズで印刷のうえ，志願者本人の自書により記載したものを提出してください。
F．医学部医学科　志願者のみ		
	確約書	インターネット出願サイトトップページから様式（PDF版）をダウンロードし，Ａ４サイズで印刷のうえ，志願者及び保証人本人が該当欄に自書・捺印したものを提出してください。
G．理工学部，農学生命科学部（総合型選抜Ⅰ，Ⅱ共通）　志願者		
	志望理由書	インターネット出願サイトトップページから様式（Microsoft　Excel版）をダウンロードし，直接入力したものを印刷して提出してください。（自書不可）
H．総合型選抜Ⅱ　志願者		
	令和３大学入学共通テスト成績請求票	本学の入学試験実施後に，大学入試センターから送付される「令和３年度大学入学共通テスト受験票」下部の「令和３大学入学共通テスト成績請求票国公立総合型選抜用」を入試課宛てに郵送してください（12月中旬）。

注）証明書等は，「コピー」と指示がない限り全て原本を提出してください。

２．総合型選抜Ⅰ

【大学入学共通テストの受験について】

総合型選抜Ⅰでは，大学入学共通テストは課していませんが，大学入学までの勉学意欲継続という趣旨に鑑み，合格者は大学入学共通テストを必ず受験することとしていました。しかし，新型コロナウイルス感染症対策に伴う受験生の負担を考慮し，今年度は任意受験とします。

なお，大学入学共通テストの成績が合否に影響することはありません。

■大学入学共通テストの出題教科・科目

国　語	国語　を１		
地　歴	世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ	１又は２	５又は６
公　民	現社，倫，政経，倫政経		
数学①	数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学Ａ	１又は２	
数学②	数学Ⅱ，数学Ⅱ・Ｂ，簿記・会計，情報関係基礎		
理　科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎，物理，化学，生物，地学	１から３	
外国語	英語（リスニング含む）　を１		

【５教科７科目又は６教科８科目】

注１）大学入学共通テストを受験するためには，事前の出願手続が必要です。

注２）大学入学共通テストの検定料等は本人負担となります。

注３）入学手続の際に，自己採点票を提出していただきます。（英語については，提供いただいた自己採点結果をもとに，入学後のクラス分けに活用する予定です。）

注４）「理科」については，以下のＡ～Ｄのいずれかのパターンから選択してください。

A	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２科目選択
B	物理，化学，生物，地学から１科目選択
C	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２科目選択及び物理，化学，生物，地学から１科目選択（同一名称を含む科目同士の選択も認める）
D	物理，化学，生物，地学から２科目選択

注５）「地歴」，「公民」，「数学」，「理科」の選択においては，科目数不足とならないよう注意してください。

（例）「地歴」，「公民」か「数学」のどちらかが１科目の場合は，「理科」はＣ又はＤパターンでの受験が必要です。

注６）「英語」については，リスニングも受験してください。ただし，リスニングを免除された者は除きます。

2－1　人文社会科学部　（総合型選抜Ⅰ）

出願要件

次の要件を備え，合格した場合は入学することを確約できる者

1．高等学校若しくは中等教育学校を平成27年４月以降に卒業した者及び令和３年３月卒業見込みの者
2．人物が優れ，志願する課程の教育・研究内容に強い興味があり，自発的学習意欲と問題解決のための思考力及び資質を有し，かつ十分な基礎学力を有する者

注）社会経営課程の募集人員45人には，専門高校枠（商業に関する高等学校，商業又は情報処理に関する学科，総合学科（商業又は情報の単位を20単位以上修得した者及び令和３年３月までに修得見込みの者））８人を含む。

選抜方法

個人面接（プレゼンテーション含む），小論文及び学習計画書の採点結果を総合して行います。

1．面接の方法
個人面接方式（受験者は自己PR，志望理由と入学後の学習計画，大学卒業後の進路等について５分から10分以内で口頭発表し，それに基づいて複数の教員により質疑応答を行う）
１人当たり20分程度とする。（口頭発表を含む）
学習計画書やその他の資料等を見ながら，面接を受けることはできない。

2．小論文の出題形式
一つのテーマについて論述させる。（制限字数800字）

3．学習計画書
志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を元に記述させる。
（１）これまでに熱心に取り組んだこと（勉学，課外活動など）を含めた自己PR（400字以内）
（２）当該課程への志望理由と入学後の学習計画（600字以内）
（３）大学卒業後の進路希望（200字以内）

配点，評価方法，合否判定基準

【配点】

個人面接	小論文	学習計画書	合計
200	200	100	500

【評価方法】
（個人面接）
アドミッション・ポリシーを念頭に，志望課程への関心と意欲，大学での学習計画と将来への見通し，コミュニケーション能力等を客観的に評価し，複数の教員により点数化する。

（小論文）
課題について自分の考えを的確に述べていること，論旨が明確であること，日本語の文章として適切であること等を総合的に評価し，点数化する。

（学習計画書）
アドミッション・ポリシーを理解し自己PRができているか，志望理由が明確で学習計画は的確に立てられているか，将来の進路希望は明確か等を判断基準として，「学力」，「行動力」，「意欲」を評価し，点数化する。

※調査書は令和３年度選抜では評価対象としない。

配点, 評価方法, 合否判定基準	【合否判定基準】 １．個人面接，小論文及び学習計画書の総得点順に合格者を決定する。 ２．総得点が同点の場合は，個人面接，小論文の順序で得点の高い者を上位とする。 ３．成績が著しく低い場合は，募集人員にかかわらず不合格となる場合がある。 注)「専門高校枠」について ⑴ 「専門高校枠」受験者から，総得点順に「専門高校枠」合格者を決定する。 ⑵ ⑴の結果,「専門高校枠」で不合格となった者と，当該課程の「専門高校枠」以外の受験者を合わせて総得点順に合格者を決定する。

１－２　教育学部　（総合型選抜Ⅰ） 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 音楽専修 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 美術専修 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 保健体育専修	
出 願 要 件	次の要件を備え，合格した場合は入学することを確約できる者 １．弘前大学教育学部での勉学を強く希望する者 ２．本専攻のアドミッション・ポリシーを十分理解し，本専攻への志望動機が明確である者 ３．高等学校若しくは中等教育学校を平成27年４月以降に卒業した者及び令和３年３月に卒業見込みの者
選 抜 方 法	**○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 音楽専修** 実技及び個人面接の評価を総合して選抜を行います。 ただし，個人面接の得点が低いと不合格になる場合があります。 １．実技　試験日当日の「共通課題」及び，事前に動画データを提出する「選択課題」を実施する。 「選択課題」においては課題Ａ又はＢを選択する。 「共通課題」と「選択課題」の両方の演奏楽曲に関する知識について「共通課題」の演奏終了後に口頭試問を行う。 複数の教員により評価する。 「共通課題」（当日） 当日，以下の課題を，それぞれに分け与えられた個室で歌唱，または演奏する。 ※複数の教員が別室でオンラインにより視聴して評価する。 ①コールユーブンゲン第１巻全曲から当日指定された曲を歌うこと。 ②ピアノ：「音階」同一調号による長調と短調。ただし，速度は，♩=80以上とする。 Hanon No.39のなかから当日指定。（暗譜） 「選択課題」（動画データを事前に提出） 次の課題Ａ又はＢのどちらかを選択し，演奏を撮影した動画データ（※）及び演奏楽曲の楽譜を複写したものを下記期限までに郵送（簡易書留）で提出すること。 提出期限：令和２年10月30日（金）【午後５時必着】 提 出 先：弘前大学学務部入試課 ※動画の撮影及びデータの提出においては次の点を遵守すること。 １．令和２年10月１日以降に撮影する。最初に新聞の日付を映して撮影日が分かるようにしたうえで，演奏終了まで１カットで撮影する。 ２．演奏前に，本人の氏名，及び演奏する楽曲名を述べる。 ３．ピアノの場合は，必ず演奏中の楽器と手元，本人の顔が（髪で隠れないように）同時に映る位置に，カメラを固定して撮影する。歌唱の場合は，正面から全身が映るようにしたうえで，本人の顔が分かるように撮影する。ピアノ以外の楽器については歌唱に準ずる。 ４．動画の撮影場所は問わない。 ５．動画データ（MP4，WMV，AVI，FLV）を保存したUSBフラッシュメモリを提出する。又は，DVD-R若しくはDVD-RWに動画データをDVD-Video形式で書き込んだものを提出すること。（記録媒体は試験日に返却する） 課題Ａ ①ハイドン，モーツァルト，ベートーヴェン作曲の任意のピアノソナタの第１楽章，あるいは最終楽章を暗譜で演奏すること。ただし，緩徐楽章は除く。 ②コンコーネ50番（中声用）の21番，23番，30番，40番，47番，50番より１曲を選択し，母音で歌うこと。（無伴奏とする）

選 抜 方 法	課題Ｂ ①ツェルニー 100番練習曲集，ツェルニー 30番練習曲集，ツェルニー 40番練習曲集の中から，任意の１曲を演奏すること。(暗譜での演奏でなくとも構わない) ②声楽又は楽器（ピアノを除く）のいずれかを暗譜で演奏すること。曲目は自由，演奏時間は原則として10分以内とする。 ※②について，撮影の際，新型コロナウイルス感染症への対応により伴奏付きで演奏出来ない場合には，伴奏譜のある楽曲であっても，無伴奏での演奏として構わない。 ２．個人面接　複数の教員により受験者１人ずつの面接を行う。 １人当たり10分程度 出願の際に提出された調査書を面接の参考資料として使用する。 **○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 美術専修** 実技及び個人面接の評価を総合して選抜を行います。 ただし，個人面接の得点が低いと不合格になる場合があります。 １．実技　基本的な造形能力をみる。 複数の教員により評価する。 鉛筆によるデッサン：「与えられたモチーフと自分の手」 サイズ：八つ切り画用紙 鉛筆描画用具を持参すること。試験実施時間は２ 時間とする。 ２．個人面接　複数の教員により受験者１人ずつの面接を行う。 １人当たり30分程度 日本及び諸外国の美術や文化に関する興味・関心，志望動機，適性等について面接を行う。 面接時に資料・作品等を披露してもよい。その場合は，１人で一度に搬入搬出できるものにすること。 出願の際に提出された調査書を面接の参考資料として使用する。 **○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 保健体育専修** 実技及び個人面接の評価を総合して選抜を行います。 ただし，個人面接の得点が低いと不合格になる場合があります。 １．実技　高等学校保健体育実技で行われている内容と同程度の運動技能テストを次の４種目について行う。 複数の教員により評価する。 種目 ①器械運動：マット運動，鉄棒運動等の基本技能についてテストを行う。 ②陸上競技：走運動，跳躍運動，投てき運動の基本技能についてテストを行う。(体育館で実施) ③柔　道：受け身，投げ技，固め技の基本技能についてテストを行う。全て受験者単独で行うものとする。 ④バスケットボール：パス，ドリブル，シュート等の基本技能についてテストを行う。全て受験者単独で行うものとする。 持参用具 運動着，柔道着，運動靴（体育館用），筆記用具 ２．個人面接　複数の教員により受験者１人ずつの面接を行う。 １人当たり30分程度 体育（体育理論を含む），保健に関する知識等についての口頭試問を含め志望動機や適性等について多面的観点から面接を行う。 出願の際に提出された調査書及びスポーツ競技歴等に関する資料を面接の参考資料として使用する。

<table>
<tr>
<td>配点,
評価方法,
合否判定基準</td>
<td>【配点】
<table>
<tr><th>実技</th><th>個人面接</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>400</td><td>200</td><td>600</td></tr>
</table>

【評価方法】
（実技）
基本的な能力・技術等を把握し，音楽・美術・保健体育の教員として必要な「学力」を評価する。

（個人面接）
質疑応答等を通して，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。
保健体育専修においては，保健体育に関する知識を問う口頭試問も行い,「学力」も評価する。

※調査書は令和３年度選抜では評価対象としない。

【合否判定基準】
１．実技及び個人面接の総得点順に合格者を決定する。
２．総得点が同点の場合は，個人面接の得点の高い者を上位とする。
３．個人面接の得点が低いと不合格になることがある。</td>
</tr>
</table>

２－３　理工学部　（総合型選抜Ⅰ）	
出願要件	次の要件を備え，合格した場合は入学することを確約できる者 １．高等学校若しくは中等教育学校を平成27年４月以降に卒業した者及び令和３年３月卒業見込みの者，又は高等専門学校３年次を令和３年３月修了見込みの者 ２．人物が優れ，志願する学科の教育・研究内容に強い興味があり，自発的学習意欲と問題解決のための思考力及び資質を有し，かつ十分な基礎学力を有する者 注１）数物科学科では，数学講義選択者と物理学講義選択者から，同数程度の合格者を予定しています。 注２）電子情報工学科の募集人員17人には，専門高校枠（高等学校等の工業又は商業に関する学科（高等専門学校の学科を含む）及び総合学科）４人を含みます。 注３）機械科学科の募集人員24人には，専門高校枠（高等学校等の工業に関する学科（高等専門学校の学科を含む）２人を含みます。
選抜方法	レポート，個人面接及び出願書類（志望理由書）の評価を総合して選抜を行います。 １．講義の実施とその内容に関するレポート 学科ごとに講義を行い，その内容に関するレポートを作成する。 ２．面接の方法 個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者１人ずつの面接を行う。 １人当たり15分～ 20分程度とする。 出願の際に提出された調査書を面接の参考資料として使用する。 ３．出願書類（志望理由書） 志望理由書については，1000字以内とする。
レポート試験実施方法等	（数物科学科） 広い意味で数学に関係する講義，広い意味で物理学に関係する講義のいずれかを出願時に選択して受講し，選択した講義に関連して指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは，講義の理解度，論理的思考力及び表現力の評価を目的とするものである。 （物質創成化学科） 化学に関する講義を聞いて，講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは，講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり，単に高等学校化学についての学力を見るものではない。 （地球環境防災学科） 広い意味で地球の環境や防災に関係する講義を聞いて，講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは，講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり，単に高等学校理科の科目についての学力を見るものではない。 （電子情報工学科） エレクトロニクスや情報技術の基礎となる数学や理科に関する講義を聞いて，講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは，講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり，単に高等学校数学や理科の科目についての学力を見るものではない。 （機械科学科） 機械の基礎となる理科に関係する講義を聞いて，講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは，講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり，単に高等学校理科の科目についての学力を見るものではない。 （自然エネルギー学科） エネルギーと環境問題への理解を深めることを目的とした模擬授業を行い，受講後には講義内容の理解度や思考力に関するレポート作成を行う。

配点, 評価方法, 合否判定基準	【配点】 <table><tr><th>レポート</th><th>個人面接</th><th>出願書類</th><th>合計点</th></tr><tr><td>200</td><td>200</td><td>100</td><td>500</td></tr></table> 【評価方法】 （レポート） 　学部において実施する講義に，能動的に対応するために必要な「学力」および「行動力」を評価し，点数化する。 （個人面接） 　基礎学力に関する試問，または口頭試問において，学部のカリキュラムに基づく学習を進めるのに必要な「学力」を評価する。また，志望動機，入学後の履修計画，卒業後の見通しなどに関する総合的な質疑により，「意欲」および「行動力」を評価し，点数化する。 （出願書類（志望理由書）） 　志望理由書に記載された志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から，「意欲」に関する評価を行う。 　出願書類はＡ～Ｄに４段階評価し，点数化する。各段階の評価点数は，Ａ：100点，Ｂ：80点，Ｃ：60点，Ｄ：20点とする。 ※調査書は令和３年度選抜では評価対象としない。 【合否判定基準】 １．出願書類（志望理由書），レポート（講義を実施し，その内容に関するレポートを作成）及び個人面接（基礎学力に関する試問を含む）の総得点順に合格者を決定する。 ２．総得点が同点の場合は，レポート，個人面接の順序で得点の高い者を上位とする。 ３．成績が著しく低い場合は，募集人員にかかわらず不合格となる場合がある。 注）「専門高校枠」について ⑴ 「専門高校枠」受験者から，総得点順に「専門高校枠」合格者を決定する。 ⑵ ⑴の結果，「専門高校枠」で不合格となった者と，当該学科の「専門高校枠」以外の受験者を合わせて総得点順に合格者を決定する。

2－4　農学生命科学部　（総合型選抜Ⅰ）

食料資源学科
国際園芸農学科
地域環境工学科

出願要件	次の要件を備え，合格した場合は入学することを確約できる者 １．高等学校若しくは中等教育学校を平成27年４月以降に卒業した者及び令和３年３月卒業見込みの者，又は高等専門学校３年次を令和３年３月修了見込みの者 ２．人物が優れ，志願する学科の教育・研究内容に強い興味があり，自発的学習意欲と問題解決のための思考力及び資質を有し，かつ十分な基礎学力を有する者 注）国際園芸農学科の募集人員15人には，専門高校枠（高等学校等の農業，林業，水産，工業，商業，情報に関する学科）４人を含みます。
選抜方法	小論文，個人面接及び出願書類（志望理由書）の評価を総合して選抜を行います。 １．小論文の出題形式 いくつかのテーマについて論述させる。（制限字数800字）90分 問題文や図表に英文が含まれることがある。 ２．個人面接の方法 複数の教員による個人面接を20分程度で行う。 具体的には，アドミッション・ポリシーに掲げた農学生命科学部及び各学科が求める学生像に適するかどうかを総合的に判断するための質問を行う。その際，出願書類（志望理由書，調査書）を面接時の参考資料にすることがある。また，面接の過程で，大学で学ぶために必要な基礎学力を確認するため，口頭試問を行う。 ３．出願書類（志望理由書） 志望理由書は，志望理由，将来への展望，自己PRなどについて，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を基に記入する。（制限字数600字）
配点， 評価方法， 合否判定基準	【配点】 小論文：300　個人面接：400　出願書類：50　合計：750 【評価方法】 （小論文） 論理的思考力，読解力，記述能力などを有しているかどうかを精査することにより，「学力」を評価し，点数化する。 （個人面接） 志望理由，興味・関心がある研究分野などについて，質疑応答を行うことにより，「行動力」，「意欲」を評価する。また，面接の過程で，口頭試問を行うことにより，「学力」を評価し，点数化する。 （出願書類（志望理由書）） 志望理由書においては，本学部に対する理解や，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより，「行動力」，「意欲」を評価する。 出願書類はＡ～Ｄに４段階評価し，点数化する。各段階の評価点数は，Ａ：50 点，Ｂ：40 点，Ｃ：30 点，Ｄ：10 点とする。 ※調査書は令和３年度選抜では評価対象としない。

配点, 評価方法, 合否判定基準	【合否判定基準】 １．小論文，個人面接及び出願書類（志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。 ２．総得点が同点の場合は，個人面接，小論文の順序で得点の高い者を上位とする。 ３．成績が著しく低い場合は，募集人員にかかわらず不合格となる場合がある。 注)「専門高校枠」について ⑴ 「専門高校枠」受験者から，総得点順に「専門高校枠」合格者を決定する。 ⑵ ⑴の結果,「専門高校枠」で不合格となった者と，当該学科の「専門高校枠」以外の受験者を合わせて総得点順に合格者を決定する。

３．総合型選抜Ⅱ

３－１　教育学部（総合型選抜Ⅱ） 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 養護教諭養成課程	
出願要件	次の要件を備え，合格した場合は入学することを確約できる者 １．弘前大学教育学部での勉学を強く希望する者 ２．本課程又は専攻のアドミッション・ポリシーを十分理解し，本課程又は専攻への志望動機が明確である者 ３．高等学校若しくは中等教育学校を平成27年4月以降に卒業した者及び令和３年３月に卒業見込みの者 ４．次のとおり令和３年度大学入学共通テストの３教科３科目又は３教科４科目を受験する者 （国　語）国語 （地　歴）世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ　から１ （公　民）現社，倫，政経，倫政経 （数　学）数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿，情報 （理　科）物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎，物理，化学，生物，地学　から１又は２ （外国語）英語　を１ から３又は４ 注１）「国語」は100点満点に換算して利用します。 注２）基礎を付した理科科目は，２科目選択です。 注３）「英語」にはリスニングを含みます。 配点については，リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）とし，合計点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。リスニングの受験を免除された者は，リーディング（100点満点）をそのまま利用します。 注４）受験を要する教科・科目数を超えて受験した場合は，得点の高い科目を採用します。ただし，「地歴」，「公民」及び「理科」については，第１解答科目の成績を優先して用います。
選抜方法	**○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース** 大学入学共通テストの得点，小論文，集団討論，個人面接及び出願書類（志望理由書）の評価を総合して選抜を行います。 ただし，個人面接の得点が低いと不合格になる場合があります。 １．小論文 広い意味での教育に関する課題について文章などの資料を与え，それについての自分の考えを論述させる。（制限字数800字） ２．集団討論 課題図書に関するテーマについて，グループで討論を行う。討論時間は１グループ当たり30分程度とする。 以下の課題図書を試験当日までに入手し，読んでおくこと。討論のテーマを設定し，受験者同士で討論をさせる。 （課題図書） 岩波ジュニア新書「正しいパンツのたたみ方」 著者　南野忠晴，発行　岩波書店，定価840円＋税，ISBN：978-4-00-500674-8 ３．個人面接 複数の教員により受験者１人ずつの面接を行う。 １人当たり20分程度とする。 はじめに志望理由書の内容について，口頭でプレゼンテーションをさせる。 出願の際に提出された調査書を面接の参考資料として使用する。 ４．出願書類（志望理由書） 志望理由書は，①教員になりたい理由（きっかけ），②課外活動やボランティア活動など，学校・家庭・地域において多様な人々と積極的に関わっていく主体的な活動や，活動の実施に向けた努力のプロセスを自由な形式で記載すること。

選抜方法

○学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻

大学入学共通テストの得点，集団討論，個人面接及び出願書類（志望理由書）の評価を総合して選抜を行います。
ただし，個人面接の得点が低いと不合格になる場合があります。

1．集団討論
課題図書に基づき指示するテーマについて，グループでの討議・取りまとめ，全体での発表・討議等を行う。
集団討論は，それぞれのグループでの討議・取りまとめを概ね60分，その後，全体での発表・討議を概ね60分行う。
以下の課題図書を試験当日までに入手し，読んでおくこと。課題図書は当日持参すること。

（課題図書）
「なぜ人と人は支え合うのか　―「障害」から考える」
著者　渡辺一史，発行　筑摩書房，定価880円＋税，ISBN：978-4-480-68343-4

2．個人面接
複数の教員により志望理由，適性，意欲，関心を受験者１人ずつに問う個人面接（ロールプレイ等を含む）を行う。
１人当たり15分程度とする。
出願の際に提出された調査書を面接の参考資料として使用する。

3．出願書類（志望理由書）
志望理由書は，①教員になりたい理由（きっかけ），②課外活動やボランティア活動など，学校・家庭・地域において多様な人々と積極的に関わっていく主体的な活動や，活動の実施に向けた努力のプロセスを自由な形式で記載すること。

○養護教諭養成課程

大学入学共通テストの得点，集団討論，個人面接及び出願書類（志望理由書）の評価を総合して選抜を行います。
ただし，個人面接の得点が低いと不合格になる場合があります。

1．集団討論
「心と体の健康」に関するテーマについて，グループで討論を行う。
討論時間は１グループ当たり40分程度とする。

2．個人面接
複数の教員により志望理由，適性，意欲，関心を受験者1人ずつに問う個人面接を行う。
１人当たり15分程度とする。
出願の際に提出された調査書を面接の参考資料として使用する。

3．出願書類（志望理由書）
志望理由書は，①教員になりたい理由（きっかけ），②課外活動やボランティア活動など，学校・家庭・地域において多様な人々と積極的に関わっていく主体的な活動や，活動の実施に向けた努力のプロセスを自由な形式で記載すること。

配点，評価方法，合否判定基準

【配点】
○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース

大学入学共通テスト						小論文	集団討論	個人面接	出願書類	合計
国語	地歴	公民	数学	理科	外国語					
100	100	100	100	100	100	200	200	200	50	950
100			100							

配点，
評価方法，
合否判定基準

○学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻，養護教諭養成課程

大学入学共通テスト						集団討論	個人面接	出願書類	合計
国語	地歴	公民	数学	理科	外国語				
100	100	100	100	100	100	200	200	50	750
100			100						

【評価方法】
○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース

（小論文）
①内容（出題の意図を的確にとらえ，自分なりの考えを明確に主張しているか等），②表現（文章の論理構成，適切な日本語，文字の表記，字数の過不足）により，「学力」と「意欲」を評価する。

（集団討論）
討論をとおして，①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力，②発言内容，③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価する。

（個人面接）
質疑応答等をとおして，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。

（出願書類（志望理由書））
志望理由書は，志望理由や活動実績等の内容から，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し，主に「意欲」を評価する。
出願書類はＡ～Ｄに４段階評価し，点数化する。各段階の評価点数は，Ａ：50点，Ｂ：40点，Ｃ：30点，Ｄ：20点とする。

※調査書は令和３年度選抜では評価対象としない。

○学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻，養護教諭養成課程

（集団討論）
討論をとおして，①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力，②発言内容，③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価する。

（個人面接）
質疑応答等をとおして，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。

（出願書類（志望理由書））
志望理由書は，志望理由や活動実績等の内容から，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し，主に「意欲」を評価する。
出願書類はＡ～Ｄに４段階評価し，点数化する。各段階の評価点数は，Ａ：50点，Ｂ：40点，Ｃ：30点，Ｄ：20点とする。

※調査書は令和３年度選抜では評価対象としない。

配点, 評価方法, 合否判定基準	【合否判定基準】 **○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース** 1．大学入学共通テスト，小論文，集団討論，個人面接及び出願書類（志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。 2．総得点が同点の場合は，個人面接，集団討論，小論文，大学入学共通テストの順序で得点の高い者を上位とする。 3．個人面接の得点が低いと不合格になることがある。 **○学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻，養護教諭養成課程** 1．大学入学共通テスト，集団討論，個人面接及び出願書類（志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。 2．総得点が同点の場合は，個人面接，集団討論，大学入学共通テストの順序で得点の高い者を上位とする。 3．個人面接の得点が低いと不合格になることがある。

※大学入学共通テスト特例追試験受験者の英語の配点について
大学入学共通テストの英語の配点は，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を，200点満点に換算して利用します。

３－２　医学部　医学科（総合型選抜Ⅱ）	
出願要件	次の要件を備え，合格した場合は入学することを確約できる者 １．次にあげる地域の高等学校若しくは中等教育学校を令和２年３月に卒業した者又は令和３年３月に卒業見込みの者 （１）青森県内枠----------青森県 （２）北海道・東北枠------北海道，岩手県，宮城県，秋田県，山形県，福島県 ２．人物，学力ともに優れ，高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.3以上の者 ただし，令和３年３月に卒業見込みの者で，臨時休業等の影響により第３学年の評定を記載できない場合は，第２学年までの評定による全体の学習成績の状況が4.3以上の者とする。（「備考」の欄にその旨を記載すること。） ３．卒業（医師国家試験合格を前提）後，下記の事項について遵守できる者 （１）青森県内枠 卒業後，直ちに青森県のキャリア形成プログラム（※）にしたがって，臨床研修を含む９年間（うち４年間は医師の不足している地域）医療に従事すること なお，入学者は，青森県・青森県国民健康保険団体連合会が募集する青森県弘前大学医師修学資金制度の修学生として，修学資金の貸与を受けなければならない （２）北海道・東北枠 ①卒業後，直ちに弘前大学医学部附属病院又は医学研究科関連施設の臨床研修プログラムにしたがって臨床研修を行うこと ②上記臨床研修修了後，引き続き弘前大学医学部附属病院又は医学研究科関連施設で医療に従事すること ③上記①②の定めの下で，臨床研修開始後少なくとも９年間医療に従事すること ④「医療従事」の範囲，医学研究科関連施設及び「医療従事期間中」の詳細について，別に示す確約書内容を遵守すること ４．次のとおり令和３年度大学入学共通テストの５教科７科目をすべて受験する者 （国　語）国語　を１ （地　歴）世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ ┐ （公　民）現社，倫，政経，倫政経 ──┘ から１ （数　学）数Ⅰ・数Ａ　を１ 数Ⅱ・数Ｂ　を１ （理　科）物理，化学，生物　から２ （外国語）英語　を１ 注１）受験を要する教科・科目数を超えて受験した場合は，得点の高い科目を採用します。ただし，「地歴」，「公民」については，第１解答科目の成績を優先して用います。 注２）「英語」の配点については，リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計得点を素点として利用します。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディングの成績を200点満点に換算して素点として利用します。 （※）• 医療法に基づき，卒業後は青森県のキャリア形成プログラムが適用される （臨床研修を含む９年間（うち４年間は医師の不足している地域で勤務）医療に従事） • 青森県弘前大学医師修学資金制度及びキャリア形成プログラムについての詳細は，青森県庁ホームページ （https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/iryo/ishisyugakushikin.html） にて確認願います。

<table>
<tr>
<td>選 抜 方 法</td>
<td>
大学入学共通テストの得点，個人面接及びケーススタディの自学自習の評価を総合して選抜を行います。

１．個人面接
複数の教員により将来性，積極性，信頼感，自己統制，社会性を受験者１人ずつに問う個人面接を行う。
１人当たり25分程度とする。
出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。

２．ケーススタディの自学自習
与えられたシナリオ及び資料を読み，自身の考えを論述させる。

※ワークショップは令和３年度選抜では実施しない。
</td>
</tr>
<tr>
<td>配点,
評価方法,
合否判定基準</td>
<td>
【配点】
<table>
<tr><th colspan="6">大学入学共通テスト</th><th rowspan="2">個人面接</th><th rowspan="2">ケーススタディの自学自習</th><th rowspan="2">合計</th></tr>
<tr><th>国語</th><th>地歴</th><th>公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th></tr>
<tr><td>200</td><td colspan="3">100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>300</td><td>100</td><td>1,300</td></tr>
</table>
【評価方法】
（個人面接）
志望理由，医療に対する関心，卒業後の進路等について，質疑応答を行うことにより，「行動力」，「意欲」を評価する。

（ケーススタディの自学自習）
読解力，日本語の文章力，論理的な表現力をとおして，「学力」を評価する。

【合否判定基準】
１．大学入学共通テスト，個人面接及びケーススタディの自学自習の総得点順に合格者を決定する。
２．総得点が同点の場合は，個人面接，ケーススタディの自学自習の順序で得点の高い者を上位とする。

注）「青森県内枠」と「北海道・東北枠」の取扱い
(1)「青森県内枠」受験者のうち合計点の点数順に上位27人を「青森県内枠」合格者とする。
(2)（1）の結果，「青森県内枠」において，不合格となった者を「北海道・東北枠」に組み入れる。すなわち，「北海道・東北枠」と「青森県内枠（のうち不合格者）」を併せて，上位20人を「北海道・東北枠」合格者とする。
</td>
</tr>
</table>

※大学入学共通テスト特例追試験受験者の英語の配点について
大学入学共通テストの英語の配点は，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を，200点満点に換算して利用します。

３－３　医学部　保健学科（総合型選抜Ⅱ）	
出願要件	次の要件を備え，合格した場合は入学することを確約できる者 １．高等学校若しくは中等教育学校を平成27年４月以降に卒業した者及び令和３年３月に卒業見込みの者 ２．人物，学力ともに優れ，本学科及び各専攻のアドミッション・ポリシーを十分理解し，各専攻への志望動機が明確な者 放射線技術科学専攻においては，上記の要件に加え,「数学Ⅰ～Ⅲ」又は「理数数学Ⅰ～Ⅱ」の科目を履修した者及び令和３年３月までに履修見込みの者 ３．次のとおり令和３年度大学入学共通テストの５教科７科目をすべて受験する者 （国　語）国語　を１ （地　歴）世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ ┐ （公　民）現社，倫，政経，倫政経 ┘ から１ （数　学）数Ⅰ・数Ａ　を１ 数Ⅱ・数Ｂ，情報　から１ （理　科）物理，化学，生物　から２ （外国語）英語　を１ 注１）本学科の指定した教科・科目を受験しない場合（英語のリスニング試験を受験しない場合も含む。ただし，受験を免除された者は除く。）は，当該試験を受験しても合格者とはなりませんので科目名，科目数には十分注意してください。 注２）受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は，得点の高い教科・科目の成績を用います。ただし,「地歴」,「公民」については，第１解答科目の成績を用います。 注３)「英語」の配点については，リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計得点を素点として利用します。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディングの成績を200点満点に換算して素点として利用します。
選抜方法	大学入学共通テストの得点，小論文，個人面接及び出願書類（志望理由書）の評価を総合して行います。 １．小論文の出題方式 専攻ごとに１つのテーマについて論述させる。（制限字数800字）60分 ２．個人面接 複数の教員で受験者１人ずつの面接を行う。 出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。 ３．出願書類（志望理由書） 志望理由書については，600字以内とする。 志望理由書は，志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を基に自分の考えを記入させる。

配点,
評価方法,
合否判定基準

【配点】

大学入学共通テスト						小論文	個人面接	出願書類	合計
国語	地歴	公民	数学	理科	外国語				
200	100		200	200	200	100	300	100	1,400

【評価方法】
（小論文）
　与えられた課題に対して，主として論理的に自分の考えや意見を論述しているかを採点評価する。

（個人面接）
　個人面接（複数の教員で受験者１人ずつの面接）を行い，面接をとおして志望専攻への関心，意欲，適性等を客観的に評価し，教員個々の評価を総合して点数化する。

（出願書類（志望理由書））
　志望理由書は，志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を基に自分の考えを記入させる。本学科に対する理解や，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより，「行動力」及び「意欲」を評価する。
　出願書類はＡ～Ｄに４段階評価し，点数化する。各段階の評価点数は，Ａ：100点，Ｂ：75点，Ｃ：50点，Ｄ：25点とする。

※調査書は令和３年度選抜では評価対象としない。

【合否判定基準】
１．大学入学共通テスト，小論文，個人面接及び出願書類（志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。
２．総得点が同点の場合は，小論文，個人面接，出願書類（志望理由書）の順序で得点の高い者を上位とする。

※大学入学共通テスト特例追試験受験者の英語の配点について
　大学入学共通テストの英語の配点は，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を，200点満点に換算して利用します。

3－4　農学生命科学部（総合型選抜Ⅱ） 生物学科 分子生命科学科	
出願要件	次の要件を備え，合格した場合は入学することを確約できる者 1．高等学校若しくは中等教育学校を平成27年４月以降に卒業した者及び令和３年３月卒業見込みの者，又は高等専門学校３年次を令和３年３月修了見込みの者 2．人物が優れ，志願する学科の教育・研究内容に強い興味があり，自発的学習意欲と問題解決のための思考力及び資質を有し，かつ十分な基礎学力を有する者 3．次のとおり令和３年度大学入学共通テストの３教科３科目又は３教科４科目を受験する者 （数　学）数Ⅰ，数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報 （理　科）物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎，物理，化学，生物，地学（※1）　から２又は３（※2） （外国語）英語　を１（※3） （※1）理科を受験する場合は，A～Dのいずれかのパターンを満たしてください。 A　物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２科目選択 B　物理，化学，生物，地学から１科目選択 C　物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２科目選択及び物理，化学，生物，地学から１科目選択（同一名称を含む科目同士の選択を認める） D　物理，化学，生物，地学から２科目選択 （※2）200点満点で科目を選択してください。 200点満点を超えて受験した場合は，得点の高い組合せ（200点満点）を採用します。ただし，理科（Dパターン）については，第１解答科目の成績を優先して用います。 なお，数学と理科に関しては，必ずしも両方を選択する必要はなく，例えば，理科（C又はDパターン）のように１教科のみで200点満点になる科目選択も可能です。 （※3）英語にはリスニングを含みます。 配点については，リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）とし，合計点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。リスニングの受験を免除された者は，リーディング（100点満点）をそのまま利用します。
選抜方法	大学入学共通テストの得点，個人面接及び出願書類（志望理由書）の評価を総合して選抜を行います。 1．個人面接の方法 複数の教員による個人面接を20分程度で行う。 具体的には，アドミッション・ポリシーに掲げた農学生命科学部及び各学科が求める学生像に適するかどうかを総合的に判断するための質問を行う。その際，出願書類（調査書，志望理由書）を面接時の参考資料にすることがある。 また，面接の過程で，大学で学ぶために必要な基礎学力を確認するため，口頭試問を行う。 2．出願書類（志望理由書） 志望理由書は，志望理由，将来への展望，自己PRなどについて，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を基に記入する。（制限字数600字）

<table>
<tr>
<td>配点,
評価方法,
合否判定基準</td>
<td>

【配点】

<table>
<tr><th colspan="3">大学入学共通テスト</th><th rowspan="2">個人面接</th><th rowspan="2">出願書類</th><th rowspan="2">合計</th></tr>
<tr><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th></tr>
<tr><td>100
又は
200</td><td>100
又は
200</td><td>100</td><td>400</td><td>50</td><td>750</td></tr>
<tr><td colspan="2">200</td></tr>
</table>

【評価方法】
（個人面接）
　志望理由，興味・関心がある研究分野などについて，質疑応答を行うことにより，「行動力」，「意欲」を評価する。また，面接の過程で，口頭試問を行うことにより，「学力」を評価し，点数化する。

（出願書類（志望理由書））
　志望理由書においては，本学部に対する理解や，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより，「行動力」，「意欲」を評価する。
　出願書類はＡ～Ｄに４段階評価し，点数化する。各段階の評価点数は，Ａ：50点，Ｂ：40点，Ｃ：30点，Ｄ：10点とする。

※調査書は令和３年度選抜では評価対象としない。

【合否判定基準】
１．大学入学共通テスト，個人面接及び出願書類（志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。
２．総得点が同点の場合は，個人面接，大学入学共通テストの順序で得点の高い者を上位とする。

</td>
</tr>
</table>

※大学入学共通テスト特例追試験受験者の英語の配点について
　大学入学共通テストの英語の配点は，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を，200点満点に換算して利用します。

Ⅲ．社 会 人 入 試

１．社会人入試の実施方法等

社会人入試は，社会人経験を有する者を対象とし，各学部等が課す小論文試験や面接試験等によって入学者の選抜を実施します。各学部等が実施する小論文試験等を全て受験していない場合には，合格者とはなりません。

２．出願要件

次の各号のいずれかに該当する者で，かつ，以下に掲げる学部・学科等ごとの出願要件を満たす者とします。

⑴　高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
⑵　通常の課程による12年の学校教育を修了した者
⑶　学校教育法施行規則第150条の規定（ただし，同条第６号の規定を除く）により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

学部・学科等	学部・学科等ごとの出願要件
医学部保健学科 看護学専攻	令和３年３月31日までに満21歳に達し，社会人の経験を３年以上有する者又はその見込みの者
医学部保健学科 理学療法学専攻	令和３年３月31日までに満22歳に達し，出願時において社会人の経験を満１年以上有する者
農学生命科学部	令和３年３月31日までに満23歳に達し，社会人の経験を５年以上有する者又はその見込みの者

注）社会人の経験には，アルバイト，家事従事等を含みます。ただし，全日制の学校（定時制及び通信制以外の学校）の在学期間は，社会人の経験には含みません。

３．出願手続

出願書類等を一括して社会人入試募集要項に添付の封筒に入れ，郵送（書留速達）してください。

４．出願書類

出願書類等	内　容　等
A．全志願者共通	
１．志願票	募集要項に添付の様式により提出してください。
２．写真票，受験票	募集要項に添付の様式により提出してください。 写真は，出願前３ヶ月以内に撮影した上半身，脱帽，正面向きのもの（タテ４cm×ヨコ３cm）を貼り付けてください。
３．「振替払込受付証明書（大学提出用）」貼付台紙	検定料17,000円を要項に添付の「払込取扱票」を用いて，最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。払込期間は,「払込取扱票」に記載のとおりです。 払い込み済みの「振替払込受付証明書（大学提出用）」を所定用紙の貼付台紙に貼り付けて提出してください。 （注意）払い込み済みの検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。 １．検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合 ２．検定料を払い込んだが出願書類が受理されなかった場合 ３．誤って検定料を二重に払い込んだ場合 上記１～３のいずれかに該当する場合は，速やかに弘前大学学務部入試課までお問合せください。

	4．調査書等	• 出身学校（高等学校長等）が作成した「調査書（厳封）」を提出してください。 • 出身学校の事情（廃校，被災，文書保管期間の超過等の理由）により「調査書」を提出できない場合は，「卒業証明書（厳封不要）」及び「成績証明書（厳封）又は単位修得証明書（厳封）」を提出してください。「成績証明書」等も提出できない場合は，その旨を書面（様式任意，自書・捺印）で申し出てください。 • 本人がり災等により上記の書類を整えられない場合は，出身学校所管の教育委員会，知事又は出身学校長が作成したこれらに代わる証明書を提出してください。 • 高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定合格者も同様）については「合格成績証明書」をもって，調査書に代えることができます。
	5．志望理由書	募集要項に添付の様式により提出してください。
	6．履歴書	募集要項に添付の様式により提出してください。
	7．受験票返送用封筒	募集要項に添付の封筒に，志願者本人の住所・氏名を明記し，切手374円（速達）分を貼付して提出してください。
	8．あて名票	募集要項に添付の様式により提出してください。
B．医学部保健学科看護学専攻　志願者のみ		
	1．推薦書	募集要項に添付の様式により提出してください。 職場の上司・友人・家族などで23歳以上の者から１通
	2．自己推薦書	募集要項に添付の様式により提出してください。
C．希望者のみ		
	成績開示用封筒 （希望者のみ）	入学試験個人成績の開示を希望する場合は，長形３号の封筒を各自用意し，送付先住所，志願者氏名を明記のうえ，切手519円（書留）分を貼付して提出してください。

注）証明書等は，「コピー」と指示がない限り全て原本を提出してください。

５．選抜方法等

大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除して，下記の方法により選抜を行います。

5-1．小論文の出題形式

一つのテーマについて論述させる。
医学部保健学科理学療法学専攻は，二つのテーマについて論述させる。

5-2．面接の方法

個人面接方式（複数の教員で，受験者１人ずつの面接を行う）
１人当たり15分程度とする。

- 医学部保健学科看護学専攻の面接では，提出された自己推薦書をふまえて５分程度の口頭発表を行った後，口頭発表の内容について複数の教員との間で質疑応答を行う。
- 農学生命科学部の面接では，基礎学力に関する口頭試問を行うことがある。

６．配点，評価方法

<table>
<tr><td rowspan="2">医学部保健学科</td><td>看護学専攻</td><td>１．小論文と面接及び出願書類を総合的に評価する。
２．小論文及び面接については，次のとおり点数化して評価する。
小論文100点，面接100点　合計200点

（小論文）
課題についての自分の考えを的確に述べていること，文章表現が豊かで，かつ，独創的であること，論旨が明確であること等を総合的に評価する。
（面　接）
本専攻への関心，意欲，適性等を客観的に評価する。</td></tr>
<tr><td>理学療法学専攻</td><td>１．小論文と面接及び出願書類を総合的に評価する。
２．小論文及び面接については，次のとおり点数化して評価する。
小論文200点，面接100点　合計300点

（小論文）
課題は二つである。そのうち一つは，英語で課題が与えられる。二つの課題について，自分の考えを的確に述べているか（どちらの課題についても日本語で），文章表現が豊かで，かつ独創的であるか，論旨が明確であるか等を総合的に評価する。
（面　接）
本専攻への関心，意欲，適性等を客観的に評価する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">農学生命科学部</td><td>１．小論文と面接及び出願書類を総合的に評価する。
２．小論文及び面接については，次のとおり点数化し合計点の６割（120点）以上を合格の目安とする。
小論文100点，面接100点　合計200点

（小論文）
課題について題意を適切に理解し，自分の考えや意見を的確に論述しているか等について総合的に評価する。
（面　接）
志望学部・学科への興味・関心・意欲・適性を客観的に評価する。</td></tr>
</table>

Ⅳ．私費外国人留学生入試

１．私費外国人留学生入試の実施方法等

私費外国人留学生入試では，日本国籍を有しない者を対象に，日本留学生試験及び各学部等が課す学力検査，小論文試験，面接試験等によって入学者の選抜を実施します。各学部等が課す学力検査等を全て受験していない場合には，合格者とはなりません。

大学入学共通テストは免除しますが，日本語能力試験のレベルN2以上に合格していることを出願の条件とします。

合格した場合の入学時期は令和３年４月とし，入学後の教育は他の選抜により入学した者と同様に行います。

２．出願要件

入学を志願できる者は，次の⑴，⑵，⑶及び⑷の全てに該当する者に限ります。

⑴　日本の国籍を有しない者で，出入国管理及び難民認定法の規定により，大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者（※１）

⑵　次のいずれかに該当する者

①　外国において，学校教育における12年の課程を修了した者及び令和３年３月31日までに修了見込みの者，若しくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

②　スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を有する者

③　ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

④　フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

⑤　グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCEA レベル）資格を有する者

⑥　国際的な評価団体（ＷＡＳＣ，ＥＣＩＳ，ＡＣＳＩ）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者及び令和３年３月31日までに修了見込みの者

⑦　個別の入学資格審査により，我が国の学校教育12年に相当する課程の最終学校を修了した者又は修了見込みの者と認めた者で，令和３年３月31日までに18歳に達する者（※２）

⑶　独立行政法人日本学生支援機構が行う「2019年度日本留学試験」（６月又は11月）又は「2020年度日本留学試験」（11月）において，本学が課す科目を受験した者（※３）

なお，理工学部においては，受験を要する科目の総得点が満点の70％（850点満点中595点）以上である者

⑷　2019年７月１日以降に日本語能力試験（JLPT）のレベルN2以上に合格した者

（※１）日本国籍を有していない者であっても，日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます）を卒業した者及び令和３年３月卒業見込みの者並びに日本国の永住許可を得ている者は，一般選抜の入学志願者と同じ扱いになり，この入試には出願できません。

（※２）出願要件⑵⑦の入学資格審査を申請する者は，募集要項で締切を確認のうえ，入試課へ申請書を提出してください。

（※３）「2019年度日本留学試験」及び「2020年度日本留学試験」を複数回受験している場合は，利用する成績は受験者が指定するいずれか１回となります。複数の試験に分けての受験結果は認めません。

３．出願手続

出願書類等を一括して私費外国人留学生入試募集要項に添付の封筒に入れ，郵送（書留速達）してください。

４．出願書類等

次の書類を提出してください。なお，外国語で作成された証明書等には，必ず日本語訳を添付してください。

１．志願票	募集要項に添付の様式により提出してください。
２．写真票，受験票	募集要項に添付の様式により提出してください。 志願学部学科等，志願者氏名を記入してください。 写真貼付欄には，出願前３ヶ月以内に撮影した上半身，脱帽，正面向きのもの（タテ４cm×ヨコ３cm）を貼り付けてください。
３．「「振替払込受付証明書（大学提出用）」貼付台紙」	検定料17,000円を添付の「払込取扱票」を用いて，最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。 払い込み済みの「振替払込受付証明書（大学提出用）」を添付の貼付台紙に貼付けて提出してください。 （注意）払い込み済みの検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。 １．検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合 ２．検定料を払い込んだが出願書類が受理されなかった場合 ３．誤って検定料を二重に払い込んだ場合 上記１～３のいずれかに該当する場合は，速やかに弘前大学学務部入試課までお問合せください。
４．受験票返送用封筒	募集要項に添付の様式により提出してください。 受験票の送付に使用するので，確実に受信できる日本国内のあて先を記入し，切手374円（速達）分を貼付して提出してください。
５．合格通知用封筒	募集要項に添付の様式により提出してください。 合格通知書の送付に使用するので，確実に受信できる日本国内のあて先を記入してください。
６．卒業（修了）証明書（日本語訳を添付すること）	最終出身学校（日本の高等学校に相当する学校）の卒業（修了）証明書を提出してください。 出願資格⑵②を有する者は，国際バカロレア資格証明書のコピーを，⑵③を有する者は，一般的大学入学資格証明書のコピーを，⑵④を有する者は，バカロレア資格証明のコピーを，⑵⑤を有する者は，GCEA レベル資格証明書のコピーを提出してください。（フランス共和国のバカロレア資格証書が未発行の場合は，７の試験成績証明書をもって代えることができます。）
７．成績証明書（日本語訳を添付すること）	最終出身学校（日本の高等学校に相当する学校）の成績証明書を提出してください。（成績証明書記載事項のうち科目名，成績評価等が符号又は略字により表示されている場合は，必ずその証明を付してください。） 出願資格⑵②を有する者は，最終試験６科目の成績評価証明書を，⑵④を有する者は，試験成績証明書を，⑵⑤を有する者は，成績評価証明書を提出してください。⑵③を有する者は，６の一般的大学入学資格証明書のコピーをもって代えることができます。
８．日本語能力試験（JLPT）の認定結果及び成績に関する証明書（レベルN2以上）	2019年７月１日以降に受験した日本語能力試験（JLPT）のレベルN2以上の「認定結果及び成績に関する証明書」を提出してください。
９．日本留学試験の受験票	「2019年度日本留学試験」又は「2020年度日本留学試験」の受験票のコピーを提出してください。 ※受験票の代わりに成績通知書のコピーの提出も可能です。
10. 【日本国内在住者】 住民票の写し又は住民票記載事項証明書	住民票の写し又は住民票記載事項証明書を提出してください。 ※国籍，在留資格，在留期間が記載されたもの ※個人番号（マイナンバー）の記載されていないもの
11. 【日本国外在住者】 パスポート等（日本語訳を添付すること）	パスポート（国籍を証明する部分）のコピー，本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書のうち，いずれか１つを提出してください。

注）証明書等は，「コピー」と指示がない限り全て原本を提出してください。

５．選抜方法等

入学者の選抜は，「2019年度日本留学試験」又は「2020年度日本留学試験」の成績と本学が実施する個別学力検査等の成績を総合して行います。

5-1．日本留学試験

受験を要する日本留学試験の実施月は，令和元（2019）年６月，11月又は令和２（2020）年11月とします。

学部・学科等			科目							選択方法	出題言語
			日本語	総合科目	数学（コース）	理科					
						物理	化学	生物	理科の受験科目数		
人文社会科学部			◎	◎	◎１又は２						日本語又は英語
教育学部	学校教育員養成課程	初等中等教育専攻	◎	◎	◎１又は２					総合科目又は理科を選択	日本語又は英語
		特別支援教育専攻	◎		◎２	○	○	○	○から２科目		
	養護教諭養成課程		◎	◎	◎１又は２					総合科目又は理科を選択	
			◎		◎１又は２	○	○	○	○から２科目		
医学部	医学科		◎		◎１又は２	◎	◎		◎を２科目		日本語
	保健学科	看護学専攻	◎		◎１又は２		◎	◎	◎を２科目		日本語
		放射線技術科学専攻	◎		◎２	◎	◎		◎を２科目		
		検査技術科学専攻	◎		◎１又は２	○	○	○	○から２科目		
		理学療法学専攻	◎		◎１又は２	○	○	◎	◎生物必修，さらに○から１科目		
		作業療法学専攻	◎		◎１又は２	○	○	○	○から２科目		
	心理支援科学科		◎	◎	◎１又は２						日本語
理工学部			◎		◎２	◎	◎		◎を２科目		日本語
農学生命科学部			◎		◎１又は２	○	○	○	○から２科目		日本語又は英語

注）◎印は必修科目，○は選択科目を表します。

5-2. 本学が実施する個別学力検査等

学部・学科等					学力検査	小論文	実技	面接
人文社会科学部						○		○
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育専攻	小学校コース			○		○
			中学校コース	国語専修 社会専修 数学専修 理科専修		○		○
				音楽専修 美術専修			○	○
				保健体育専修 技術専修 家庭科専修 英語専修		○		○
		特別支援教育専攻				○		○
	養護教諭養成課程					○		○
医学部	医学科				○	○		○
	保健学科					○		○
	心理支援科学科					○		○
理工学部								○
農学生命科学部						○		○

【学力検査について】
医学部医学科の学力検査では，「英語」の筆記試験を行います。

【小論文について】
課題を与え，日本語で論述させます。（制限字数800字）

5-3. 実技検査の方法等

<table>
<tr><th colspan="2">学部・課程等</th><th>実　施　方　法　等</th></tr>
<tr><td rowspan="2">教育学部
学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻
中学校コース</td><td>音楽専修</td><td>Ⅰ．次の①～③の全項目を受験する。
試験日当日に①と②を実施し，③については事前に演奏を撮影した動画データを提出する。

①コールユーブンゲン第１巻全曲から当日指定された曲を歌うこと。
②ツェルニー 100番練習曲集，ツェルニー 30番練習曲集，ツェルニー 40番練習曲集の中から，任意の１曲（楽譜持込可）を演奏すること。

①と②については，当日，それぞれに分け与えられた個室で歌唱，または演奏する。
※複数の教員が別室でオンラインにより視聴して評価する。

③声楽又は楽器（ピアノも含む）のいずれかを暗譜で演奏すること。曲目は自由，演奏時間は原則として10分以内とする。

③については，演奏を撮影したデータ（※）及び演奏楽曲の楽譜を複写したものを事前に郵送で提出すること。（出願書類に同封する）

※動画の撮影及びデータの提出においては次の点を遵守すること。
１．令和２年11月１日以降に撮影する。最初に新聞の日付を映して撮影日が分かるようにしたうえで，演奏終了まで１カットで撮影する。
２．演奏前に，本人の氏名，及び演奏する楽曲名を述べる。
３．ピアノの場合は，必ず演奏中の楽器と手元，本人の顔が（髪で隠れないように）同時に映る位置に，カメラを固定して撮影する。歌唱の場合は，正面から全身が映るようにしたうえで，本人の顔が分かるように撮影する。ピアノ以外の楽器については歌唱に準ずる。
４．動画の撮影場所は問わない。
５．動画データ（MP4，WMV，AVI，FLV）を保存したUSBフラッシュメモリを提出する。又は，DVD-R若しくはDVD-RWに動画データをDVD-Video形式で書き込んだものを提出すること。（記録媒体は試験日に返却する）

Ⅱ．実技のあと，口頭試問を行う。</td></tr>
<tr><td>美術専修</td><td>美術実技は次のとおりとする。（３時間）
デッサン……鉛筆デッサンの用具を持参してください。
（イーゼル，カルトンは不要）</td></tr>
</table>

5-4. 面接の実施方法

学部・学科等	実　施　方　法　等
人文社会科学部	複数の教員で受験者１人ずつの面接を行う。 （英語の基礎学力に関する試問を含む）
教育学部	複数の教員で受験者１人ずつの面接を行う。
医学部	複数の教員で受験者１人ずつの面接を行う。１人当たり15分程度とする。 （保健学科では，基礎学力に関する試問を含む）
理工学部	複数の教員で受験者１人ずつの面接を行う。１人当たり20分程度とする。 （基礎学力に関する試問を含む）
農学生命科学部	複数の教員で受験者１人ずつの面接を行う。 （基礎学力に関する試問を行うことがある）

６．配点，評価方法

人文社会科学部	小論文及び面接については，次のとおり点数化して評価する。なお，日本留学試験の成績は総合判定の資料とする。 小論文 100点，面接 100点　合計 200点 （小論文） 課題についての自分の考えを的確に述べていること，論旨が明確であること，日本語の文章として適切であること等を総合的に評価する。 （面　接） 面接をとおして志望学部・課程への関心，意欲，適性等を客観的に評価する。
教育学部	小論文，実技及び面接については，次のとおり点数化して評価する。なお，日本留学試験の成績は総合判定の資料とする。 小論文又は実技100点，面接100点　合計200点 （小論文） 論述の内容が，与えられた課題に則しており，論理的であること，自分の考えや意見が明確であること，また言葉づかいが正確であること等を総合的な評価の基準とする。 （実　技） 音楽に関する基礎的な能力を採点評価する。（音楽） 基本的な描写能力を採点評価する。（美術） （面　接） 志望専攻への動機・興味・関心・意欲・資質等を総合的に評価する。
医学部医学科	（日本留学試験）受験を要する科目の合計点を５段階評価する。 （英　語）英語に関する基礎的な学力を採点評価する。 （小論文）課題についての自分の考えを明確に論述しているかどうかを日本語能力も含め，総合的に採点評価する。 （面　接）医学への関心，意欲，適性等を評価する。 日本留学試験，英語，小論文，面接それぞれをＡ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｅの５段階評価とする。
医学部保健学科	日本留学試験，小論文及び面接の結果を総合して行う。 Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｅの５段階評価とする。 （日本留学試験） Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｅの５段階評価とする。 （小論文） 複数の教員で採点し，Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｅの５段階評価とする。 （面　接） 複数の教員で行い，Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｅの５段階評価とする。
医学部心理支援科学科	日本留学試験，小論文及び面接の結果を総合して行う。 Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｅの５段階評価とする。 （日本留学試験） Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｅの５段階評価とする。 （小論文） 複数の教員で採点し，Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｅの５段階評価とする。 （面　接） 複数の教員で行い，Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｅの５段階評価とする。

理工学部	面接については，次のとおり点数化して評価する。なお，日本留学試験の成績は総合判定の資料とする。 面接100点 （面　接） 志望学部・学科への興味・関心・意欲・適性及び基礎学力を客観的に評価する。
農学生命科学部	小論文及び面接については，次のとおり点数化して評価する。なお，日本留学試験の成績は総合判定の資料とする。 小論文200点，面接200点　合計400点 （小論文） 課題について題意を適切に理解し，自分の考えや意見を的確に論述しているか等について総合的に評価する。 （面　接） 志望学部・学科への興味・関心・意欲・適性を客観的に評価する。

７．安全保障輸出管理について

弘前大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「国立大学法人弘前大学安全保障輸出管理規程」を定め，物品の輸出，技術の提供及び外国人留学生の受入れについて厳格な審査を実施しています。

規制されている事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない場合や研究できない場合がありますので，注意してください。

外国人留学生は，入学時に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する誓約書に署名し，提出していただきます。

８．日本留学試験及び日本語能力試験に関する問合わせ先

8-1. 日本留学試験

(1)　日本留学試験（EJU）ウェブサイト
https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/eju/index.html

(2)　日本留学試験受付センター
住所）〒192-0081　東京都八王子市横山町10-2　八王子SIA ビル7F
電話）0570-55-0585※　　FAX）042-649-9569
※一部携帯電話，ＩＰ電話及び海外からの電話は，042-649-9571

8-2. 日本語能力試験

(1)　日本語能力試験（JLPT）ウェブサイト
https://www.jlpt.jp/

(2)　日本語能力試験受付センター
電話）03-6686-2974　　FAX）03-6845-2544

Ⅴ．共 通 事 項

１．入学検定料

入学検定料	１７,０００円

⑴　選抜方法にかかわらず，入学検定料は上記の金額です。
⑵　一般選抜において，前期日程，後期日程の両方に出願する場合は，それぞれ入学検定料を納付する必要があります。
⑶　既納の入学検定料は，下記①から③のいずれかの場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。ただし，下記④又は⑤に該当する場合は，弘前大学学則第24条により13,000円を返還します。
①入学検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合
②入学検定料を払い込んだが出願書類が受理されなかった場合
③誤って入学検定料を二重に払い込んだ場合
④一般選抜・前期日程（医学部医学科）の第１段階選抜の結果，不合格となった場合
⑤一般選抜において，出願受付後に，大学入学共通テストの受験科目不足等により出願無資格者であることが判明した場合

２．入学検定料の免除について

弘前大学では，自然災害による被災者の経済的負担を軽減し，受験者の進学機会の確保を図るために，令和２年度に実施する入学者選抜試験について，以下のとおり入学検定料を免除する措置を講じます。

2-1．免除対象となる入学者選抜試験

令和２年度に実施する学部入試及び大学院入試（科目等履修生，研究生及び聴講生は対象外）

2-2．対象者

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で，東日本大震災（平成23年３月11日発生）及び令和２年度に災害救助法が適用された地域で被災し，次のいずれかに該当する方
⑴　学資負担者が居住していた家屋（持家に限る）が，全壊，大規模半壊，半壊，流失と認定された方
東日本大震災においては，岩手県，宮城県及び福島県の全市町村並びに青森県，茨城県，栃木県及び千葉県の災害救助法適用市町村に居住していた方
⑵　学資負担者が災害により死亡または行方不明となった方
⑶　居住地が福島第一原子力発電所の事故により，帰還困難地域，居住制限区域または避難指示解除準備区域に指定された方
注）令和２年度災害救助法の適用を受けない地域であっても，り災証明書等の提出により対象となる場合がありますので，学務部入試課へお問い合わせください。

2-3．申請の方法

事前に学務部入試課へ電話等で問い合わせのうえ，所定の申請書に証明書類を添えて，出願書類とともに提出してください。この場合は，出願時に入学検定料を払い込まないでください。
詳細については，本学入試情報ホームページでご確認ください。

３．障害等のある入学志願者の事前相談について

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち，受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は，各募集要項で締切を確認のうえ，事前に学務部入試課へ相談してください。

４．入学試験における感染症対応について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ，麻疹，水痘，新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない場合や，新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として，試験当日，自宅

待機となっている場合は，受験できません。また，継続して発熱・咳等の症状がある，又は発熱・咳等の症状があり試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合も，受験を取り止めてください。いずれの場合も，追試等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。

ただし，一般選抜では，新型コロナウイルス感染症に罹患し治癒していない者，新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として自宅待機している者，試験当日に発熱・咳等の症状があり受験を取り止めた受験者のために，医師の診断書（証明書）等の提出を条件として，前期日程・後期日程の追試験を実施します。追試験の詳細は，一般選抜学生募集要項（11月公表予定）で確認してください。

受験者は，下記事項に留意して試験に臨んでください。

⑴ 発熱・咳等の症状がある場合は，あらかじめ医療機関を受診してください。
⑵ 試験当日は検温してきてください。
⑶ 試験当日の検温で37.5度以上の熱はないが発熱・咳等の症状がある場合は，その旨を試験場の入場受付担当者や試験監督者に申し出てください。
⑷ 試験場内では，必ずマスクを着用し，昼食時及び試験関係者からの指示があった場合以外は常に着用してください。
⑸ 試験室への入退室を行うごとに手指消毒を行ってください。
⑹ 試験場内の移動や休憩時間，昼食時において，他者との接触，会話を極力控えてください。他者との距離を保って行動し，休憩時間等においても，自席以外に座らないでください。
⑺ 受験者控室は設けませんので，できる限り入場時間に合わせて試験場に来てください。
⑻ 障害等の理由がある場合を除き，保護者の方の付き添いは控えてください。
⑼ 昼食が必要な場合は持参し，試験室内の自席でとってください。
⑽ ごみは各自持ち帰ってください。特に，使用したマスクは試験場内で廃棄しないでください。
⑾ 日頃から，手洗い・手指消毒，うがい，身体的距離の確保，「三つの密」の回避等により各自感染防止に努め，体調管理には十分注意してください。
⑿ 今後，新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては，募集要項の公表後や出願期間後であっても，やむを得ず，試験期日や選抜方法の変更等の緊急措置を実施する場合があります。
⒀ 上記の緊急措置を実施する場合は，ホームページ等でお知らせしますのでご留意願います。

５．合格発表について

合格者には,「合格通知書」を出願時の登録住所あてに郵送で発送します。合格者の受験番号は本学ホームページでも確認できますが，ホームページの掲載情報は本学の情報提供サービスの一環として行うものであり,「合格通知書」をもって正式な通知とします。

６．入学手続について

6-1. 入学手続方法

合格者へは,「合格通知書」送付時に入学手続に必要な書類を送付します。詳細については，各募集要項で公表しますが，本学の入学手続については，下記にご留意願います。

⑴ **一般選抜**

① 所定の期日までに入学手続を完了しない場合は，入学を辞退したものとみなします。
② 本学に入学手続を行った者は，他の国公立大学・学部に入学手続を行うことはできません。また，他の国公立大学・学部において入学手続を行った者は，これを取り消して本学に入学することはできません。
③ 本学の前期日程に合格し入学手続を行った者は，後期日程試験を受験しても合格者となることはできません。

⑵ **総合型選抜**

① 合格者は，本学に入学しなければなりません。特別な事情によって入学を辞退する場合は，入学手続日までに本学の許可を得なければなりません。
② 入学手続完了者は，一般選抜を受験しても合格者となることはできません。
③ 本学への入学手続を行わず，辞退の手続も行っていない場合は，その後，本学及び他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者となることはできません。

⑶　社会人入試，私費外国人留学生入試

①　所定の期日までに入学手続を完了しない場合は，入学を辞退したものとみなします。

6-2. 納付金

区分	金　額	納付時期
入　学　料	282,000円	入学手続時
授　業　料	535,800円（年額） ┌前期分 267,900円 └後期分 267,900円	下記のいずれか • 5月，10月に半期分納付 • 5月に年額を一括納付

注１）入学料及び授業料は現時点の金額です。入学時までに入学料及び授業料が改定された場合は，それぞれ改訂後の額となります。
　　また，在学中に授業料の改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用されます。
注２）納付済みの入学料については，入学手続完了後は，いかなる理由があっても返還しません。

７．欠員補充について

⑴　総合型選抜

総合型選抜の合格者が募集人員に満たない場合は，その不足した人員を一般選抜・前期日程の募集人員に加えます。

⑵　一般選抜

入学手続締切日において入学定員に欠員が生じた場合は，追加して合格者を決定することがあります。追加合格者の決定は，追加合格候補者に該当する受験者本人に直接連絡し，入学する意思を確認した者について行います(追加合格候補者は発表しません)。詳細については，募集要項で公表します。

８．入学試験個人成績の開示について

令和３年度入学試験における個人成績を，志願者の申請により開示します。詳細については，各募集要項で公表します。

９．個人情報の取扱いについて

⑴　利用目的

志願者から提出された個人情報は，入学者選抜のほか，次の範囲で利用します。
①入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること
②入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること
③その他，教育・研究に関すること
上記の利用目的に係る個人情報の取扱い業務の全部又は一部を外部に委託する場合があります。

⑵　国公立大学間の情報提供

国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，合否及び入学手続等に関する個人情報(氏名，高等学校等コード及び大学入学共通テスト受験番号)を大学入試センター及び併願先国公立大学へ提供します。

⑶　保健所等の行政機関への提供

受験者や試験監督者等の新型コロナウイルス感染が判明した場合に，濃厚接触者の特定を行うため，受験者の個人情報を域内の保健所等の行政機関に提供します。

⑷　第三者への提供

入学後の学生生活支援等のため，志願者の請求に基づき，弘前大学と業務委託契約を締結している弘前大学生活協同組合から資料（新生活サポート，教科書教材，アパート等の情報パンフレット）を送付します。資料請求を希望する方の同意がある場合に限り，弘前大学生活協同組合へ個人情報（氏

名，住所，電話番号，本学受験番号）を提供します。同意の有無については，出願時に確認します。

10. 募集要項等の公表について

要項等の名称		公表予定時期
入学者選抜要項		7月
学生募集要項	総合型選抜 社会人入試 私費外国人留学生入試	7月
	一般選抜	11月

注１）一般選抜及び総合型選抜は，インターネット出願となります。
　　募集要項は紙媒体では発行しませんので，弘前大学入試情報ホームページ上でご確認願います。
注２）紙媒体で発行する，選抜要項，募集要項及び大学パンフレットの請求方法は，本学入試情報ホームページ上でご確認願います。

Ⅵ．各学部の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

人文社会科学部

1）人文社会科学部が求める学生像

人文社会科学部では，多元的な文化理解と現代社会に対する多面的理解を重視したカリキュラムを提供することによって，地域文化を含む自国の文化を創造し発信する力，地域課題を含めて現代社会が直面している諸課題を発見・分析・解決する力を養い，社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 人文科学と社会科学の諸領域（考古学，歴史学，文学，哲学，法学，経済学，経営学，社会学等）に関わる専門的知識・技能を習得するための基礎学力
- 学んだ専門的知識・技能を文化の振興や社会の発展に役立てるための行動力
- 人間文化の発展に貢献することや現代社会が直面する複雑な問題を解決することへの意欲

また，人文社会科学部の各課程は，それぞれ次のような学生を求めます。

【文化創生課程】

- 地域社会の発展のために，地域の文化振興や地域のグローバル化の推進等の活動を担っていけるような行動力のある人
- 国内外の有形無形の文化を人類共通の遺産として次世代に伝えていくこと，深い歴史認識に立って世界情勢を的確に見極めることに意欲的である人

【社会経営課程】

- 地域社会の発展のために，自治体の政策立案や地域産業の育成，地域住民との協働による問題解決等に貢献していくことができるような行動力のある人
- 少子高齢化や人口減少，経済・産業基盤の変化等，現代社会が直面する諸課題を解決することに意欲的である人

2）入学志願者に求める学習の取組

- 教科・科目の学習をとおして，歴史文化や社会に関する基礎知識をはじめ，論理的思考力・情報処理能力，コミュニケーション能力等を身に付けておく必要があります。
- グループ学習等の体験型学習をとおして，自分自身の考えを積極的に発信していく力や学習に主体的に参加する姿勢を身に付けておく必要があります。
- 物事を多面的に理解し，複雑化した問題を的確に分析する力を養うために，国内外のさまざまな問題に広く関心を持つ姿勢や，多様な分野の学習に積極的に取り組む姿勢を身に付けておく必要があります。

3）入学者選抜の基本方針

人文社会科学部では，人文社会科学分野の人材として育つにふさわしい学力・行動力・意欲を有する学生を選抜する目的で，多面的・総合的な評価方法により，別表のとおり入学者を選考します。

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜（前期）	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から，左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	◎	○	○
	個別学力検査				
	志望理由書				
	調査書				
一般選抜（後期）	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し，さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から，左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	◎	○	○
	小論文				
	志望理由書				
	調査書				
総合型選抜Ⅰ	小論文	本学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心等を評価するという観点から，左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○	◎	◎
	個人面接				
	学習計画書				
	調査書				

注）点数評価・段階評価する項目のうち，◎大きい比重，○小さい比重

【別表２】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	一般・後期	人間の営みや現代社会が直面している課題等について，文献等の資料を提示し自分の考えを述べさせる。 資料が示していることを十分に理解しているか，設問に対して自分の考えを論理的に述べているか，日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として，「学力」を評価する。
	総合Ⅰ	一つのテーマについて論述させる。 設問に対して自分の考えを論理的に述べているか，日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として，「学力」を評価する。
個人面接	総合Ⅰ	自己PR，志望理由と入学後の学習計画，大学卒業後の進路等について口頭発表させ，発表内容に関する質疑応答を行う。 アドミッション・ポリシーを念頭に置いた志望課程への関心と意欲が高いか，大学入学後の学習計画と将来への見通しについては明確か，質疑応答が的確になされているか等を判断基準として，「学力」，「行動力」，「意欲」を評価する。
志望理由書	一般・前期	志望理由について，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を元に記述させる。 専門分野に対する興味・関心などが高いか等を判断基準として，「意欲」を評価する。
	一般・後期	
学習計画書	総合Ⅰ	志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を元に記述させる。 アドミッション・ポリシーを理解し自己PRができているか，志望理由が明確で学習計画は的確に立てられているか，将来の進路希望は明確か等を判断基準として，「学力」，「行動力」，「意欲」を評価する。
調査書	一般・前期	高等学校での科目の履修状況，教科外活動の状況，ボランティア活動・各種の資格等の取得等を判断基準として，「行動力」を評価する。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	

※令和３年度選抜においては，新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う緊急措置により，選抜方法，評価要素等が，「入学者選抜の基本方針」と一部異なることがあります。

教　育　学　部

1）教育学部が求める学生像

教育学部では，子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる，学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的としています。この観点から「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 将来，教員になるための素養と，入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として，または多様な人々と協働して，地域社会における教育に参画していこうとする行動力
- 教育者を目指して知的・人格的に成長していこうとする意欲

また，教育学部の各課程・専攻は，それぞれ次のような学生を求めます。

【学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻】

- 小・中学校等の教員として必要な専門力・実践力を身に付けるために，自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来，小・中学校等の教員として，学校教育に貢献したいという強い意志と，明確な目標を持っている人

【学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻】

- 障害等の特別な教育的ニーズを教育，心理，病理などの多方面から理解し支援するために，自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来，特別支援学校等の教員として，特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人

【養護教諭養成課程】

- 養護教諭として必要な専門力・実践力を身に付けるために，自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 子どもの健康に高い関心を持ち，将来，養護教諭として学校教育に貢献するという強い意志を持つ人

2）入学志願者に求める学習の取組

- 高等学校で履修する教科・科目の基礎的理解だけでなく，取得する教員免許に則した深い学び，課題の把握とその解決に向けたプロセスをわかりやすく表現や説明できる力を習得しておくことが必要です。
- 将来，教員として同僚や児童・生徒，保護者とのコミュニケーションを円滑に育めるように，課外活動やボランティア活動など，多様な人々と積極的に関わっていく主体的な経験が望まれます。
- 日頃から社会情勢や教育問題に対して関心を持ち，困難な問題にも安易にあきらめることなく乗り越えるための努力を惜しまない姿勢と，自己を高める継続的な向上心を身に付けておくことが必要です。

3）入学者選抜の基本方針

教育学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

<table>
<tr><th rowspan="2">選抜区分</th><th rowspan="2">選抜方法</th><th rowspan="2">目的と概要</th><th colspan="3">重点評価項目</th></tr>
<tr><th>学力</th><th>行動力</th><th>意欲</th></tr>
<tr><td rowspan="4">一般選抜
（前期）</td><td colspan="2">小学校コース，中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修を除く），特別支援教育専攻，養護教諭養成課程</td><td rowspan="4">◎</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">○</td></tr>
<tr><td>共通テスト</td><td rowspan="3">高等学校修了レベルの学習の達成度を評価すると共に，教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td></tr>
<tr><td>個人面接</td></tr>
<tr><td rowspan="3">一般選抜
（後期）</td><td colspan="2">小学校コース</td><td rowspan="3">◎</td><td rowspan="3">○</td><td rowspan="3">○</td></tr>
<tr><td>共通テスト</td><td rowspan="2">高等学校修了レベルの学習の達成度を評価すると共に，小学校教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。</td></tr>
<tr><td>個人面接</td></tr>
<tr><td rowspan="4">総合型選抜Ⅰ</td><td colspan="2">中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修）</td><td rowspan="4">◎</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">○</td></tr>
<tr><td>実技試験</td><td rowspan="3">アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な，音楽・美術・保健体育の教員としての基礎的な学力（技能および知識）と資質・適性，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。</td></tr>
<tr><td>個人面接</td></tr>
<tr><td>出願書類(調査書)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">総合型選抜Ⅱ</td><td colspan="2">小学校コース，特別支援教育専攻，養護教諭養成課程</td><td rowspan="6">◎</td><td rowspan="6">◎</td><td rowspan="6">◎</td></tr>
<tr><td>共通テスト</td><td rowspan="5">アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な，教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価すると共に，高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。</td></tr>
<tr><td>小論文
小学校コースのみ</td></tr>
<tr><td>集団討論</td></tr>
<tr><td>個人面接</td></tr>
<tr><td>出願書類(調査書・志望理由書)</td></tr>
</table>

注）点数評価・段階評価する項目のうち，◎大きい比重，○小さい比重
注）一般選抜では，調査書は面接試験の参考とする。
注）総合型選抜Ⅰの保健体育専修では，スポーツ競技歴等が分かる資料を面接試験の参考とする。

【別表２】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
実 技 試 験	総合Ⅰ	中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修） 事前に提示した課題または運動種目について実技試験を行う。 基本的な能力・技術等を把握し，音楽・美術・保健体育の教員として必要な「学力」を評価する。 音楽専修においては，演奏楽曲に関する知識等に関する口頭試問も含む。
小　論　文	総合Ⅱ	小学校コース 広い意味での教育に関する課題について自身の考えを記述させる。 ①内容（出題の意図を的確にとらえ，自分なりの考えを明確に主張しているか等），②表現（文章の論理構成，適切な日本語，文字の表記，字数の過不足）により，「学力」と「意欲」を評価する。
集 団 討 論	総合Ⅱ	小学校コース，特別支援教育専攻，養護教諭養成課程 与えられたテーマについてグループで討論を行う。 討論をとおして，①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力，② 発言内容，③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価する。
個 人 面 接	一般・前期	質疑応答等をとおして，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。 総合Ⅰの保健体育専修においては，保健体育に関する知識を問う口頭試問も行い，「学力」も評価する。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
	総合Ⅱ	
調　査　書	総合Ⅰ	高等学校での教科外活動の状況，ボランティア活動・プロジェクト活動など校内外での活動，各種の資格・免許取得などにより，主に「行動力」を評価する。
	総合Ⅱ	
志望理由書	総合Ⅱ	小学校コース，特別支援教育専攻，養護教諭養成課程 志望理由や活動実績等の内容から，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し，主に「意欲」を評価する。

※令和３年度選抜においては，新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う緊急措置により，選抜方法，評価要素等が，「入学者選抜の基本方針」と一部異なることがあります。

医 学 部 医 学 科

1）医学部医学科が求める学生像

医学部医学科では，豊かな人間性と高度の医学知識に富み，広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者の養成を目的としています。

そのような人材の養成を目指すにあたって，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 医学教育を受けるに十分な素養で，入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 他人を思いやるやさしさと社会性を持ちながら，高度で先端的な医療を地域社会と連携しながら実践してゆく行動力
- 生涯にわたり医師として医療・医学に貢献したいという明確な目的を持ち，何事にも前向きに取り組み，知的・人格的に成長していこうとする意欲

2）入学志願者に求める学習の取組

- 医学を修めるために，理系科目だけでなく，英語や文系科目もしっかりと履修し，応用力を伴った総合的学力を身に付けておくことが必要です。
- 将来，さまざまな医療職と連携し，多様なニーズに対応できる医療を実践するためには，コミュニケーション能力と協調性を身に付けておくことが必要です。
- 医学・医療を取り巻く社会問題や地域の動向に関心を持ち，自ら積極的に学ぶ姿勢を身に付けておくことが必要です。

3）入学者選抜の基本方針

医学部医学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜（前期）	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し，さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	総合問題				
	個人面接				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心等を評価する観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	○	◎	◎
	ケーススタディの自学自習				
	ワークショップ				
	個人面接				
学士編入学（第２年次）	TOEFL	修業年限４年以上の大学卒業レベルの学習の達成度及びさまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	○
	基礎自然科学・数学				
	個人面接				

注）配点により評価する項目のうち，◎大きい比重，○小さい比重
注）一般選抜（前期）及び総合型選抜Ⅱの個人面接では，調査書及び志望理由書を参考資料とする。
注）学士編入学（第２年次）の個人面接では,志望理由書を参考資料とする。

【別表２】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
総合問題	一般・前期	文章や資料の読解，分析を含め総合的思考力を試す設問により,「学力」を評価する。
個人面接	一般・前期	事前に提出される「志望理由書」を資料に用いて，志望理由，医療に対する関心，卒業後の進路等について，質疑応答を行うことにより,「行動力」,「意欲」を評価する。
	総合Ⅱ	
	学士編入学	
ケーススタディの自学自習	総合Ⅱ	与えられたシナリオ及び資料を読み，自身の考えを論述させる。読解力，日本語の文章力，論理的な表現力をとおして,「学力」を評価する。
ワークショップ	総合Ⅱ	与えられたテーマについて，グループで問題を解く。コミュニケーション能力，協調性，積極性等により,「行動力」,「意欲」を評価する。
TOEFL	学士編入学	英語について，修業年限４年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価する。
基礎自然科学・数学	学士編入学	物理・化学・生物・数学の筆記試験をとおして，修業年限４年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価する。

※令和３年度選抜においては，新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う緊急措置により，選抜方法，評価要素等が,「入学者選抜の基本方針」と一部異なることがあります。

医学部保健学科

1）医学部保健学科が求める学生像

医学部保健学科では，保健医療の高度な知識及び技術を習得し，豊かな人間性と問題解決能力を備え，創造性，独創性と国際的視野を有し，社会で活躍できる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 保健医療専門職となるための学修に必要な基礎的学力
- 将来，他の医療職者と協調しながら保健医療活動を実践するための行動力
- 向上心と研究心を基に，保健医療の実践者として社会に貢献する強い意欲

また，医学部保健学科の各専攻は，それぞれ次のような学生を求めます。

【看護学専攻】
- 人間や生命，健康に関心を持ち，看護専門職者として知的・人格的に成長しようとする意欲のある人
- 人間の尊厳を重んじ，人や社会，文化の多様性を認め，人と良好な関係を築くことができる人

【放射線技術科学専攻】
- 診療放射線技師専門職となるための学修に必要な学力を有し，特に理系の科目をしっかり履修した人
- チーム医療の一員として積極的にコミュニケーションを図り，他の医療技術者と互いに協力し合い，より良い医療を提供するための行動力のある人
- 医療を安全に行う能力を有し，生涯にわたり向上心・探究心を持ち続け，知的・人格的に成長しようとする意欲のある人

【検査技術科学専攻】
- 医療従事者としての自覚とチーム医療遂行のための協調性を持ち，鋭い観察力と洞察力ならびに応用力を備えて保健医療の発展のために積極的に行動できる人
- 自然科学，保健医療，臨床検査に強い関心を持ち，検査職をとおして人々の健康維持・増進に積極的に取り組む意欲のある人

【理学療法学専攻】
- 他者と適切な関係を築きながら，さまざまな人たちと協働して，障害者等が抱える問題の解決に取り組む行動力を有する人
- 理学療法士として向上心・研究心を持って保健医療に取り組み，障害者等のリハビリテーションに貢献したいという強い意欲のある人

【作業療法学専攻】
- 作業療法の対象者の個別の価値観や生活を尊重し，対象者の希望に沿った作業活動を考えつつ実践するための行動力のある人
- チーム医療の一員として，他職種を尊重しながら，作業療法を積極的に実行する意欲のある人

2）入学志願者に求める学習の取組

- 医療従事者は，高度な知識や技術が求められますので，高等学校においては履修するすべての教科についての幅広い知識が必要とされます。
- チーム医療の一員として医療に関わることも多いため，課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望まれます。
- 研究心や探求心などに基づき，さまざまなことに関わる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

3）入学者選抜の基本方針

医学部保健学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜（前期）	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するとともに，医療従事者としての資質・能力，適性，意欲・関心等を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個別学力検査				
	小論文（該当する専攻のみ）				
	志望理由書				
	調査書				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための基礎的学力，資質・能力，適性，意欲・関心等を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
	小論文				
	個人面接				
	志望理由書				
	調査書				
編入学入試（第３年次）	学力検査	専門教育についての学習に強い意欲と行動力を評価するという観点から，「学力」については，学力検査と小論文，「意欲」，「行動力」については個人面接で評価し，総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
	小論文				
	個人面接				

注）点数評価・段階評価する項目のうち，◎大きい比重，○小さい比重
注）編入学試験では，志望理由書は面接の基礎資料とする。

【別表２】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	一般・前期	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。 日本語の文章力，論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。 また，さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力の観点から「意欲」，「行動力」も評価します。
	編入学	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。 日本語の文章力，論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。
	総合Ⅱ	
個人面接	総合Ⅱ	自己PR，志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路，高等学校での学習や課外活動等について質疑応答を行います。 志望理由，専門分野に関する興味関心についての質疑応答の内容から「意欲」，課外活動・ボランティア活動についての質疑応答の内容から「行動力」を評価します。
	編入学	
学力検査	編入学	英語の基礎学力を問う問題に解答させます。 英文和訳においては英語の文章の読解力と日本語の表現力を評価します。
志望理由書	一般・前期	志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を基に自分の考えを記入させます。 本学科に対する理解や，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより，「意欲」を評価します。
	総合Ⅱ	
調査書	一般・前期	高等学校での科目の履修状況，教科外活動の状況，ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動，各種の資格・免許取得などにより，主に「行動力」を評価します。
	総合Ⅱ	

※令和３年度選抜においては，新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う緊急措置により，選抜方法，評価要素等が，「入学者選抜の基本方針」と一部異なることがあります。

医学部心理支援科学科

1）医学部心理支援科学科が求める学生像

医学部心理支援科学科では，科学的思考力を有し，こころの問題を感受し，その問題を解決できる能力や生命に対する高い倫理性と豊かな人間性を有し，悩める人に寄り添い，心理支援職としての役割をとおして地域住民の健康と福祉に寄与し，社会に貢献する地域のリーダーとなる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 心理支援職としての知識と技術を修得するのに必要な基礎学力
- 他職種と連携しチームの一員として心理支援活動を実践するための行動力
- 社会問題や地域の動向に関心をもち，心理支援職として社会に貢献する強い意欲

2）入学志願者に求める学習の取組

- 心理支援職は，高度な知識や技術が求められますので，高等学校においては履修するすべての教科についての幅広い知識が必要とされます。
- 他職種と連携しチームの一員として心理支援業務に関わることも多いため，課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望まれます。
- 幅広い研究心や探求心などに基づき，社会問題や地域の動向に関心を持ち，自ら積極的に関わる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

3）入学者選抜の基本方針

医学部心理支援科学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜（前期）	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から，知識・理解力・思考力・判断力・表現力について，共通テストと個別学力検査により評価します。また，「意欲」，「行動力」については，志望理由書及び調査書により評価します。これらの結果を総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個別学力検査				
	志望理由書				
	調査書				

注）点数評価・段階評価する項目のうち，◎大きい比重，○小さい比重重

【別表２】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
志望理由書	一般・前期	志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を基に自分の考えを記入させます。 本学科に対する理解や，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより，「意欲」を評価します。
調査書	一般・前期	高等学校での科目の履修状況，教科外活動の状況，ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動，各種の資格・免許取得などにより，主に「行動力」を評価します。

※令和３年度選抜においては，新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う緊急措置により，選抜方法，評価要素等が，「入学者選抜の基本方針」と一部異なることがあります。

理　工　学　部

1）理工学部が求める学生像

理工学部では，変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養うカリキュラムを提供することによって，自然のしくみを探究する力，先端技術社会を支える科学を発展させ技術を創造する力，変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い，地域や国際社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 専門教育の基礎となる理数系の学力，および社会の中で専門的能力を活かすための基礎学力
- 高等学校までに学習すべき課題に真摯に取り組むとともに，自らの個性や資質に合わせてその他の活動にも積極的に参加し，自らを成長させていく行動力
- 専門を生かして新たな課題を見いだし，解決するために学び続ける意欲

また，理工学部の各学科は，それぞれ次のような学生を求めます。

【数物科学科】

（数学型）
- 数理科学への強い興味を持ち，数理科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 探究心が旺盛で豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって社会に貢献する意欲のある人

（物理型）
- 自然の基本原理に興味を持ち，物理学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 物質を構成しその性質を決定している量子の世界から広大な宇宙の世界までを支配している自然の基本原理を理解し，より深く探求することやその成果を社会へ還元することに意欲のある人

【物質創成化学科】
- 化学物質の構造や化学反応のしくみを物質の機能と結びつけて探求することに興味を持ち，化学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 自ら課題を見いだし，暮らしを豊かにする機能性物質や環境調和を指向した機能性材料を創成し，リサイクル，省資源，エネルギー創成技術等に関する諸課題を解決するための研究開発に意欲のある人

【地球環境防災学科】
- 宇宙空間，大気・水圏，地質・岩石，地震・火山等を対象とした地球科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲を持つ人
- 自ら課題を見いだし，地球に関する科学の深化や，地球環境問題の解決，自然災害の防止に貢献することに意欲のある人

【電子情報工学科】
- 電子回路，電子材料，コンピュータとソフトウェア，通信ネットワーク，セキュリティ，組込みシステムなどの電子情報工学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 電子情報工学の発展に強い関心を持ち，学んだことの成果を社会のさまざまな分野で活用することに意欲のある人

【機械科学科】

- 医用・福祉，環境・エネルギー，航空宇宙，輸送機械，ロボット，ＡＩ，ナノテクノロジーなどの機械科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ものづくりに関する科学技術の発展に強い関心を持ち，失敗を恐れず継続してものごとに取り組み，学んだことの成果を社会のさまざまな領域で活用することに意欲のある人

【自然エネルギー学科】

- 自然や人間社会に深い興味を持ち，自然エネルギーに関する多様な分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 地域に存在する自然エネルギー源を利用することや，その活用に意欲のある人

2）入学志願者に求める学習の取組

- 理工学分野の学問を学ぶために必要な力として，論理的思考力，自然科学に関する基礎知識，表現やコミュニケーションの能力を身に付けておくことが必要です。
- 自ら課題を探求し，主体的に取り組む学習態度，新しい発見や創造的な活動に取り組むための行動力が必要です。また，他者と協働して学習や研究などに取り組むことができる行動力や学習態度が必要です。
- 困難な課題に対しても安易にあきらめることなく取り組み，やり遂げようとする意欲を持ち続けることが必要です。また，自然界の仕組みや社会を支える技術について日頃から興味を持ち，学習に自発的に取り組む態度が必要です。

3）入学者選抜の基本方針

理工学部では，前記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により，別表のとおり入学者を選考します。

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜（前期）	共通テスト 個別学力検査 出願書類（志望理由書・調査書）	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点に，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための意欲，行動力に関する観点を加味し，左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
一般選抜（後期）	共通テスト 個別学力検査 出願書類（志望理由書・調査書）	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点に，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための意欲，行動力に関する観点を加味し，左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
総合型選抜Ⅰ	講義の実施とその内容に関するレポート 個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 出願書類（志望理由書・調査書）	本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心等を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
編入学入試（第３年次）推薦	個人面接（口頭試問を含む） 志望理由書 推薦書 調査書又は成績証明書	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心等を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
編入学入試（第３年次）一般	個人面接（口頭試問を含む） 志望理由書 調査書又は成績証明書	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心等を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	◎

注）点数評価・段階評価する項目のうち，◎大きい比重，○小さい比重

【別表２】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
個人面接	総合Ⅰ 編入学	基礎学力に関する試問，または口頭試問において，学部のカリキュラムに基づく学習を進めるのに必要な「学力」を評価します。また，志望動機，入学後の履修計画，卒業後の見通しなどに関する総合的な質疑により，「意欲」および「行動力」を評価します。
講義の実施とその内容に関するレポート	総合Ⅰ	学部において実施する講義に，能動的に対応するために必要な「学力」および「行動力」を評価します。
出願書類（志望理由書・調査書）	一般・前期 一般・後期 総合Ⅰ	志望理由書に記載された志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から，「意欲」に関する評価を行います。また，調査書記載の学習や課外活動に対する取組状況から「行動力」に関する評価を行います。以上の評価を総合して段階評価とし，その評価に応じた加点を行います。
志望理由書	編入学	志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から，「意欲」に関する評価を行います。
推薦書	編入学	これまでの学習に対する取組や学習意欲に関する客観評価から，「意欲」および「行動力」の評価を行います。
調査書又は成績証明書	編入学	これまでの学習に対する取組状況から，「行動力」の評価を行います。また，３年次以降の履修に対応する能力についても評価します。

※令和３年度選抜においては，新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う緊急措置により，選抜方法，評価要素等が，「入学者選抜の基本方針」と一部異なることがあります。

農学生命科学部

1）農学生命科学部が求める学生像

農学生命科学部では，農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身に付け，課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍でき，創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することを目的としています。この目的のため，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育や，農学および生命科学の各分野の専門教育に必要な基礎学力（高等学校の教科全般，特に理科，英語，数学）
- 農学および生命科学をとおして国際社会や地域社会に参画しようとする行動力
- 農学と生命科学に興味を持ち，これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲

また，農学生命科学部の各学科は，それぞれ次のような学生を求めます。

【生物学科】
- 生物学の遺伝子レベルから生態系レベルにわたるさまざまな基礎的知識や応用的知識を，実社会への参画をみすえ，積極的に身に付けようとする行動力を持つ人
- 生物学に強い興味を持ち，動植物の生命現象の解析を通じて，生物の基礎的現象のしくみや生物が持つ多様性，適応戦略，進化のメカニズムの解明に意欲のある人

【分子生命科学科】
- 分子レベルでの生命現象の理解や知識を活用した産業（例えば，医薬品，食品，化学工業など）および学問分野で活躍しようとする行動力を持つ人
- 生命現象のしくみや機能に興味を持ち，高校で学習した生物や化学の知識を基に分子レベルでこれを理解し，さらに追求する意欲のある人

【食料資源学科】
- バイオテクノロジー，食品科学，作物生産環境について目的意識を持って学ぶことができ，これらの研究を積極的に行うことができる行動力を持つ人
- 学びの中からさまざまな課題を自ら見出し，解決する力を養い，学修後にそれを食料生産や食品産業に役立てようとする意欲のある人

【国際園芸農学科】
- 地域農業の活性化や国際的な展開に取り組む行動力を持つ人
- 農業生産の技術とその原理を学ぶことに意欲のある人
- 食と農の経済を学ぶことに意欲のある人

【地域環境工学科】
- 自立した農業土木技術者として，社会的責任を自覚し，自主的継続的に学修し，多様な人々と協働し，国内外の地域社会に参画していこうとする行動力を持つ人
- 数学や物理学などの自然科学に関する工学基礎知識を身に付け，水・土・農業土木関連施設や農村・山間地に関わる総合的な工学知識を習得した農業土木技術者を目指し，国内外の地域社会の問題解決や発展に貢献しようとする意欲のある人

2）入学志願者に求める学習の取組

- 農学および生命科学の各分野の教育を受けるために必要な基礎学力だけではなく，論理的思考力，読解力，記述能力などの修得が必要です。
- 自分自身の考えを持ち，さまざまな課題に立ち向かい，解決する行動力を身に付けておくことが必要です。
- 実験室のみならずフィールドでの学習・研究活動を自主的かつ積極的に取り組む意欲が必要です。

3）入学者選抜の基本方針

農学生命科学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜（前期）	共通テスト 個別学力検査 志望理由書 調査書	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から，共通テストと個別学力検査により「学力」を評価します。また，志望理由書と調査書により「行動力」，「意欲」を評価します。これらを総合評価して選抜します。	◎	○	○
一般選抜（後期）	共通テスト 小論文 志望理由書 調査書	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から，共通テストと小論文により「学力」を評価します。また，志望理由書と調査書により「行動力」，「意欲」を評価します。これらを総合評価して選抜します。	◎	○	○
総合型選抜Ⅰ	志望理由書 調査書 小論文 個人面接	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心などを評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	○	◎	◎
総合型選抜Ⅱ	共通テスト 志望理由書 調査書 個人面接	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心などを評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。また，基礎学力をより適正に判断するため，共通テストの成績を選抜に用います。	○	◎	◎
編入学入試（第３年次）	小論文 個人面接 編入学願 成績証明書	本学部で専門教育を受けるために必要な「学力」，「行動力」，「意欲」を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○

注）点数評価・段階評価する項目のうち，◎大きい比重，○小さい比重

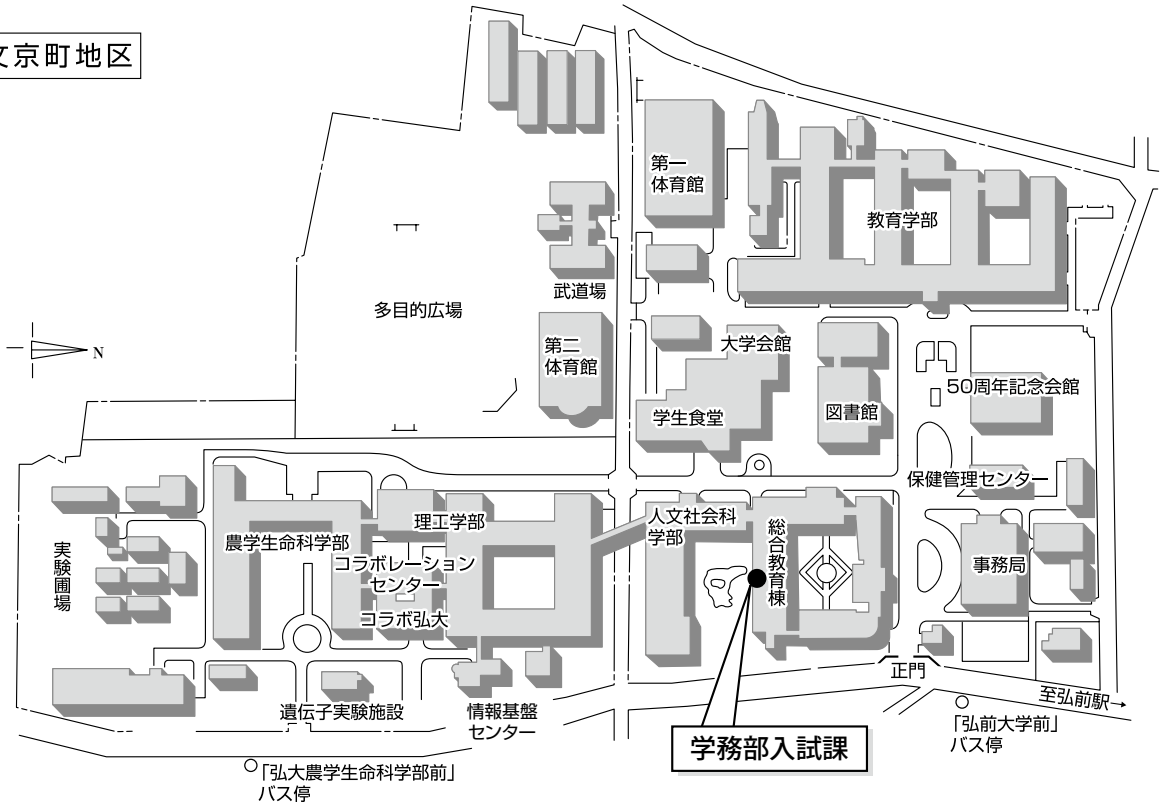
【別表２】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	一般・後期 総合Ⅰ 編入学	農学や生命科学などに関連する，いくつかのテーマについて論述させる。論理的思考力，読解力，記述能力などを有しているかどうかを精査することにより，「学力」を評価する。
個人面接	総合Ⅰ 総合Ⅱ 編入学	志望理由，興味・関心がある研究分野などについて，質疑応答を行うことにより，「行動力」，「意欲」を評価する。また，面接の過程で，口頭試問を行うことにより，「学力」を評価する。編入学入試では「学力」を重視するため，より専門的な内容の口頭試問を行うことがある。
志望理由書	一般・前期 一般・後期 総合Ⅰ 総合Ⅱ	志望理由，将来への展望，自己PRなどについて，これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を基に記入する。本学部に対する理解や，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより，「行動力」，「意欲」を評価する。
調査書	一般・前期 一般・後期 総合Ⅰ 総合Ⅱ	高等学校での科目の履修状況，教科外活動の状況，ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動，各種の資格・免許取得などにより，「行動力」，「意欲」を評価する。
編入学願	編入学	本学部に対する理解，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより，「行動力」，「意欲」を評価する。
成績証明書	編入学	教養科目や専門科目の成績を精査することにより，各学科の教育研究内容に関連する「学力」を評価する。

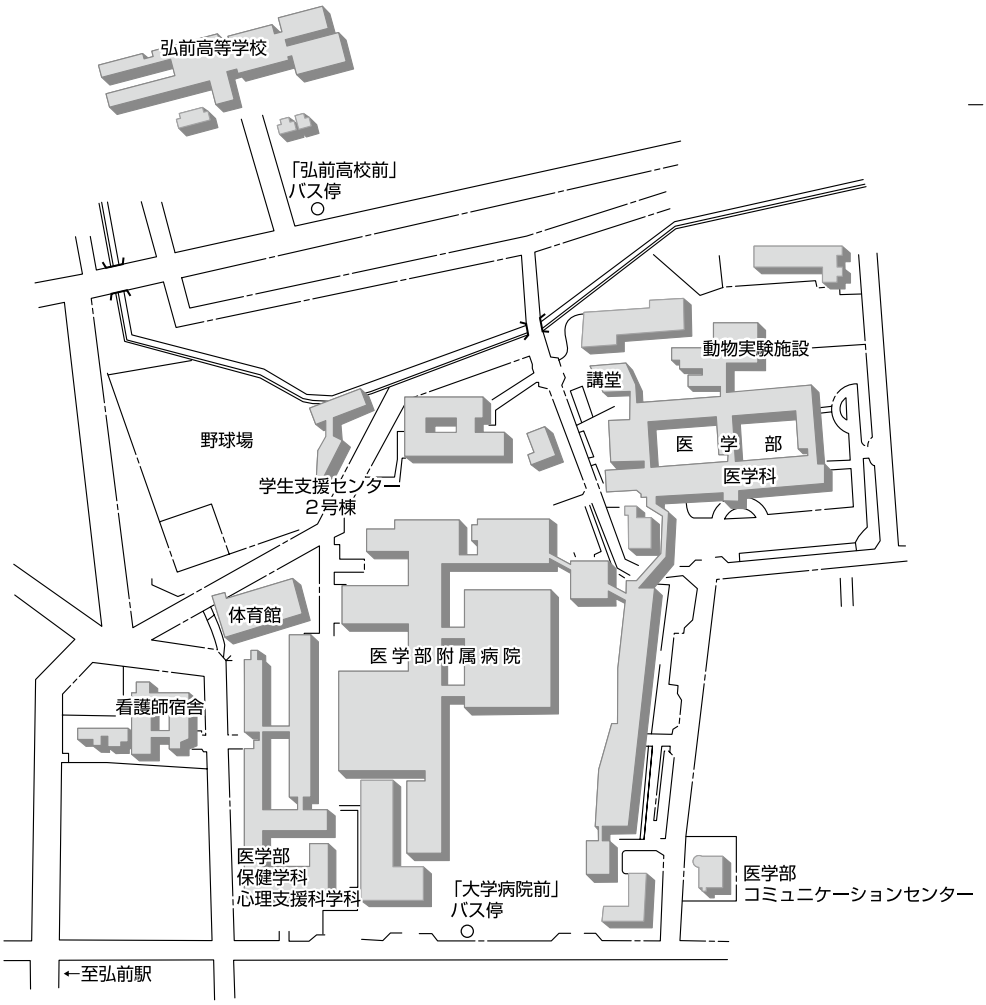
※令和３年度選抜においては，新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う緊急措置により，選抜方法，評価要素等が，「入学者選抜の基本方針」と一部異なることがあります。

■弘前大学キャンパス略図

文京町地区



本町地区



【問合せ先一覧】

内　　容	担当部署	連　絡　先
入学試験全般に関すること	学務部入試課	0172-39-3122 （FAX）0172-39-3125
検定料の支払い及び返還に関すること		
入学手続に関すること		
入学料，授業料の免除等に関すること	学務部学生課	0172-39-3117
奨学金に関すること		
学生寮に関すること		0172-39-3107
授業料の口座振替に関すること	財務部財務管理課	0172-39-3043
カリキュラム，資格取得等に関すること （注）右欄の学部に係る入学試験に関することは，学務部入試課へお問い合わせください。	人文社会科学部	0172-39-3940
	教育学部	0172-39-3939
	理工学部	0172-39-3930
	農学生命科学部	0172-39-3752
入学試験に関すること カリキュラム，資格取得等に関すること	医学部医学科	0172-39-5204 0172-39-5206（入試）
	医学部保健学科	0172-39-5911
	医学部心理支援科学科	

試験時の宿泊やチケット予約 アパート紹介等に関すること	弘前大学生活協同組合 （代表）0172-34-4806

【所在地一覧】

部署名	所在地
学務部入試課，学務部学生課，財務部	〒 036-8560 青森県弘前市文京町１番地
人文社会科学部	
教育学部	
理工学部	〒 036-8561 青森県弘前市文京町３番地
農学生命科学部	
医学部医学科	〒 036-8562 青森県弘前市在府町５
医学部保健学科	〒 036-8564 青森県弘前市本町６６－１
医学部心理支援科学科	

弘前大学公式ホームページ
https://www.hirosaki-u.ac.jp/

弘前大学入試情報ホームページ
https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/

合格者発表，出願状況，試験当日の連絡
https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/